平成28年(2016年)熊本地震

被災された皆様へ 謹んでお見舞い申し上げます

熊本地震により被害を受けられました皆様に

謹んでお見舞い申し上げますと共に

犠牲になられた方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます

皆様のご無事と、一日も早い復興を祈念致します

ライオン誌日本語版委員会

LION MAGAZINE IN JAPAN
June 2016, Vol.58 No.12

We Serve CONTENTS

■2016年6月号
表紙
千葉県流山市
あじさい通り
写真／鈴木秀晃

本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

A Message From Our President

Dr. Jitsuhiro Yamada
Lions Clubs International
President

比類なきライオンズの奉仕に敬礼

多くの日本人にとって孔子の教え、特に「温故知新」という言葉はなじみ深いものであると思います。言うまでもなく、これは「昔のことをよく学び、そこから新しい知識や道理を得ること」を意味します。孔子の言葉は何か難しいことのように聞こえますが、これは極めて普通の、世界のどこでも共感される常識だろうと思います。この考えはライオンズのロゴにも反映されています。二つのライオンの横顔は、一方は過去を、他方は未来を見つめているのです。

国際会長として最後の月を迎え、私自身も過去と未来を見つめています。今年遂げられた成功は、過去のライオンズが積み上げてきたものの上に達成されたものです。今年も、はしかキャンペーンで命を守ってきました。視力も保護してきました。さまざまな方法で、コミュニティーをより良い場所にしてきました。ライオンズはまた、子どもたちを守るために大いに力を発揮しました。年度当初に、私のテーマ「命の尊厳と和」の下、子どもたちに手を差し伸べてほしいと皆さんにお願いをしました。悲しいことに、難民危機により、過去数十年世界が経験しなかったような悲劇を目にすることもありました。しかし、このような現場でも、ライオンズは活発に食料や水、そして思いやりの手を差し伸べています。

間近になった100周年の祝賀に備える年だからこそ、今年は過去を振り返り、未来に備えるのに最も適した1年であったと言えます。

100周年奉仕チャレンジの目標である「2018年6月30日までに1億人への奉仕」の達成に向け、ライオンズはこの1年で目覚ましい勢いで数を伸ばしました。未来を予告するのは不吉という説もありますが、必ずこの目標を軽々と達成出来るものと私は確信しています。

過去を振り返るのも大切ですが、私たちはまた、変化への勇気、時には長く続いた伝統も断ち切る勇気が必要です。変わりゆく社会のニーズに常に対応するためには、ライオンズも変わり続けなければなりません。痛みを伴うこともありますが、私たちは常に次の世代のライオンズを考えながら行動すべきだと、私は信じます。

この1年、国際会長を務めることが出来たことを大変光栄に思っています。さまざまな土地を訪問しましたが、どこでも最高のライオンズ・スピリットを発揮し、何千もの会員の方々が、私と妻の利子を温かく迎えてくれました。心から感謝しております。日本人のおもてなしはすばらしいと誇りに思っていますが、多くの国々で体験したライオンズのおもてなし精神は、それを上回るものでした。何よりも、各地で目にしたライオンズの奉仕への熱意、各コミュニティーで積み上げてきた実績に、心から感激致しました。

どうか奉仕を続けていってください。過去100年変わらず、むしろそれ以上に、今も世界は私たちの奉仕を必要としているのです。

2015-16年度国際会長
山田實紘

※「国際会長メッセージ」は全世界のライオンズへ向け同一内容で配信されており、原文は国際協会公式サイト（www.lionsclubs.org/EN/about-lions/our-leadership/meet-the-leaders/presidents-message.php）に掲載されています

Headline

今回の地震により阿蘇山周辺ではあちこちで大規模な崩落が起こっている

←高森ライオンズクラブの中尾会長に337-D地区年次大会での募金を手渡す識名元地区ガバナー

4月14日に熊本県益城(ましき)町で震度7、16日にも益城町と西原村で震度7の激しい揺れを観測する地震が発生。その前後にも震度6強が2回、震度6弱3回、震度5強4回、震度5弱7回、震度4が87回と、過去に例のない激しい地震活動が熊本、大分両県を襲い、各地で家屋の倒壊や大規模な土砂崩れが起こった。一連の地震では熊本県の7市町村で49人の方が亡くなり、南阿蘇村では今も1人の行方が分かっていない。

熊本地震に対してはライオンズでも支援の輪が広がっており、各地区年次大会の会場で被災地支援募金を実施した地区も多い。その一つ337-D地区（海老名万道地区ガバナー／鹿児島県、沖縄県）は、4月23日に沖縄県那覇市で開催した年次大会の折、大会会長の百田勝彦元地区ガバナーの提案で会場に募金箱を設置。集まった19万9815円は、翌24日から避難所での炊き出し奉仕のため熊本入りした識名安信元地区ガバナー（沖縄県・八重山ライオンズクラブ）と青木和彦ゾーン幹事（鹿児島谷山ライオンズクラブ）の2人が高森ライオンズクラブ（37人）の中尾三郎会長を訪ね義援金として手渡した。高森町と南阿蘇村をエリアとする高森ライオンズクラブは、全会員の無事が確認されているが、中尾会長を始め南阿蘇村のメンバー数人は、自宅損壊や周辺の土砂崩れの影響などにより避難生活を余儀なくされている。南阿蘇村ではあちこちで土砂崩れが発生しており、阿蘇大橋（国道325号）が崩落、国道57号も寸断された他、俵山トンネル（熊本県道28号熊本高森線）も崩落しており、村が三つに分断された形になっている。そのため現在は、高森ライオンズクラブとしての会合等も持つことが出来ない状態だという。（関連記事18ページ）

SCENE

山形県・寒河江臥龍ライオンズクラブ

取材／鈴木秀晃

東日本大震災で被災された方たちの心に寄り添うお振る舞い

寒河江臥龍ライオンズクラブ（芳賀功会長／46人）は4月9日、宮城県南三陸町を訪問。東日本大震災から5年経った現在も、応急仮設住宅で暮らす被災者の方たちに、手打ちそばや山形名物の玉こんにゃくを振る舞った。

震災翌年の2012年3月、第28回寒河江市少年少女柔道大会が開かれ、南三陸町の志津川柔道クラブ「柔学会」と、南三陸の隣にある登米市の豊里柔道クラブの小中学生20人が招待された。南三陸と登米の子どもたちは本大会に参加した他、前日には寒河江市柔道連盟（安孫子正芳会長＝寒河江臥龍ライオンズクラブ）所属の陵武会柔道スポーツ少年団と合同練習も行った。

毎年大会を後援し、特に中学1年生男子団体戦をクラブの冠大会としている寒河江臥龍ライオンズクラブはこの時、そばや山形名物の芋煮で被災地の子どもたちをもてなした。その後も両地域の交流は継続。今年3月の第32回大会に南三陸の子どもたちが参加した際にも、クラブは子どもたちに昼食を提供した。

今回の南三陸訪問は、柔道を通して培った絆を更に深めようと、クラブが計画。陵武会の子どもたち10人と父兄8人を伴って、いつものように柔道で交流する他、仮設住宅で暮らす方たちへのお振る舞いも併せて行うことにした。

当日は、そば打ち名人による打ちたてゆでたてのそばに、本職の料理人が揚げたげそ天をのせて提供。仮設住宅で暮らす人たちは、桜前線と共に山形からやって来た温かいもてなしに、笑顔で舌鼓を打っていた。

SCENE

大阪島之内ライオンズクラブ

取材／井原一樹　写真／宮坂恵津子

子どもたちと触れ合う時間を。蓬莱本館で豚まんと焼売の手づくり体験

4月2日、大阪・難波にある中華料理店蓬莱本館に大阪島之内ライオンズクラブ（鈴木康之会長／18人）の面々が集まっていた。この日は毎年児童養護施設高津学園の子どもたちを対象に、クラブが実施している蓬莱本館豚まん&ジャンボ焼売手作り体験の日だ。

この蓬莱本館は関西で人気のお店。この豚まん&ジャンボ焼売手作り体験は観光客にも大人気で、なかなか予約がとれない。そんな中、蓬莱本館の代表取締役で大阪戎橋いとはんライオンズクラブ所属のライオン東進明の協力により、実施出来ている。

ライオン東が豚まんの作り方を丁寧に説明するが、なかなかうまくいかない様子。だが、子どもたちは真剣な表情で豚まんと焼売作りに取り組んでいた。

クラブでは結成当初から高津学園への支援を行っている。学園にはおもちゃなどは十分にある。だが、人と触れ合う機会は少ない。そこでクラブではクリスマス会や今回のような体験会を実施するようになった。

当初、春は低学年を対象とした1日里親を実施していた。だが、まだ春は新しい環境になったばかりで心を開けない子も多かった。そこで1日里親を秋に動かし、高学年を対象とした体験会を春に実施することになった。これらの体験は子どもたちにとっては大人と触れ合う貴重な機会だ。大切な思い出にもなっているようで、低学年の時に里親になってもらったことを覚えている子どもも多い。クラブでは今後も子どもたちの思い出に残る事業を実施していく。

Well You Know
If She Do
My Baby
I'm Gonna Pack My Bags
Gonna Move On Down The line

CLUB REPORT
クラブ・リポート

333-C地区

千葉県・九十九里ライオンズクラブ

九十九里の観光資源
砂浜を走るビーチレースを開催

4月23日、房総半島の南東、太平洋に面した九十九里浜で、第4回九十九里ビーチレースが開催された。九十九里ライオンズクラブ（古川義一会長／8人）が3年前に企画し、地元の若者と実行委員会を作って実施しているもの。

マラソン大会の一種だが、砂浜を走るのが特徴となっている。砂浜は足場が不安定なため、通常のロードレースと比べると、身体に何倍もの負荷が掛かる過酷なマラソン大会だ。だが、海

●投稿要領：
アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に。700字程度。写真を添付。ライオン誌ウェブマガジンのオンライン投稿か、Eメールまたは郵送で。送付先は57ページ下。

沿いを走る開放感があり、景色も奇麗なため、今年も約350人が参加した。

　九十九里町は人口減少と高齢化が問題となっている。そこで、クラブでは町おこしが出来る事業を模索していた。九十九里の観光資源は、やはり奇麗な砂浜。砂浜を生かすイベントをと考え、ビーチレースを企画した。また、この大会によってライオンズの知名度を上げ、会員増強にもつなげたいと考えている。近隣のクラブも協力してくれるため、地域のライオンズのつながりにも一役買っている。

　千葉県では各地域が持ち回りで「県民の日」事業を実施している。たまたま九十九里浜の含まれる山武地域が担当する年にこの話が持ち上がってきたため、初年度は県民の日事業として開催された。当初はファミリー部門の5㌔と、一般参加の10㌔の2部門だったが、昨年の3回目から20㌔の部門も作った。今では知名度も上がり、県外からの参加者も多い。

　クラブでは以前、青少年のスポーツ大会の協賛はしたことはあったが、メインとなって開催するのは初めての取り組み。ノウハウがなかったため苦労したが、大きな問題もなく終えることが出来た。最初の2回はライオンズ主導で大会を運営し、やり方が確立出来た昨年の3回目から徐々に地元の若者に運営の中心を移し、メンバーはフォローに回るようにしている。いずれ、町の機関と連携し、地元の若者に運営主体を受け渡したい考えだ。

　課題は運営費の赤字と、参加者が思うように増えないこと。出来るだけ参加しやすいようにと、今年は前回よりも参加費を500円引き下げた。だが、完走者に提供するいわしつくね汁を始めとした参加賞や、入賞者に贈る賞品を考えると、限界がある。また、大会の特徴をアピールし、参加者を増やすことも必要だ。目標は参加者1千人。それに加え、クラブでは今後、シクロクロス（オフロードの自転車レース）などビーチを利用した他のスポーツ大会も開き、九十九里の魅力を広くアピールしたいと考えている。

（取材／井原一樹　撮影／関根則夫）

337-E地区

熊本県・肥後東ライオンズクラブ

モットーは「楽しくなければダメ」。だから作業も、まるで大人の泥遊び

熊本市の水のシンボル江津湖は、市の中心部から南東に約5キロの場所にある。ひょうたんのような形をしていて、くびれを境に上江津湖と下江津湖に分かれる。70万熊本市民の水道水の100％を天然の地下水でまかなう宝の湖だ。

面積の大きな下江津湖には千メートルのボートコースがあるなど、市内の高校と大学ボート部の活動拠点にもなっている。4月も中頃になるとレガッタの大会が始まり、学生がレガッタで湖面を横切る姿は、江津湖に春を告げる風物詩となっている。

ところが近年、この湖はレースの開催が危ぶまれるほどの脅威にさらされている。脅威とは、ウォーターレタスやブラジルチドメグサといった外来の水草だ。春から夏にかけて湖岸から水面を覆うように猛烈な勢いで繁茂し、レガッタの進行を妨げるのだ。水草の異常繁茂は生態系を大きく変貌させる他、腐敗した水草から臭気が発生するなど、地域住民の生活環境にも大きな影響を及ぼしている。

これまで熊本県ボート協会が定期的に水草を除去してきたが、2015年からはその年度に産声を上げたばかりの肥後東ライオンズクラブ（山崎茂会長／59人）が活動に加わっている。下江津湖のある東区で仕事をするメンバーが中心のクラブで、結成時から水草除去の活動をメイン・アクティビティに据えることを決めていた。

水草除去が行われた4月3日にはクラブ・メンバーがそれぞれ会社の社員やその家族を大動員。また、熊本中央ライオンズクラブのライオンズ木村洋一郎からスキューバーチームを手配してもらった他、ボート協会関係者やボート部の学生、保護者の方の参加もあり総勢350人での作業となった。

気温のせいかまだ十分に伸びておらず、その上1週間前の大風で流されたため水草はそう多くはなかったが、その分湖岸に流れ着いたゴミが目立った。大きな熊手で岸辺を覆う水草を除去しながら、こうしたゴミも拾っていく。

「これから気温が上がると水草が生い茂るスピードがますます早くなります。早めに対応しておくと、後から手が付けられなくなるのを防げるので、春先の作業はとても大事」

と、加田哲郎幹事は話す。春に水草を取り去っても、夏にはまた湖面を覆い始めるので、クラブでは8月にも水草除去を行う。2～3時間の作業を予定していたが、平均年齢40歳代という若いメンバーががんばりすぎ

たのか1時間強で8台用意していた運搬車がいっぱいに。ほぼ全員が泥だらけになりながらこの日の作業を終えた。

（取材／砂山幹博　撮影／長谷川直紀）

※今回の熊本地震で被災された皆さんに、心よりお見舞い申し上げますと共に、1日も早い復興を祈念申し上げます。

330-B地区

神奈川県・横須賀ライオンズクラブ

少年サッカーチームと清掃活動を実施

4月10日、横須賀ライオンズクラブ（37人）は横須賀市内の少年サッカーチームと合同で清掃活動を実施した。今回が3回目。回を重ねるごとに規模が大きくなり「Clean Up Yokosuka」と名付けられた今回の清掃活動には、横須賀市少年サッカー協会、選手たちの保護者、またアメリカ海軍からのボランティアを含め、総勢420人ほどが参加し、終始和やかな雰囲気の下、横須賀市内の清掃を行った。少年サッカーチームの子どもたちが真剣な眼差しで市中に落ちているゴミを見つけ、我先に拾い上げごみ袋に入れる姿には、清掃活動中の安全を見守っている我々も自然と笑みがこぼれる。

アメリカ海軍の皆様は積極的に子どもたちに英語で話しかけていた。子どもたちは聞きなれない言葉に少し戸惑いながらも、楽しそうに意思疎通を図っていて、即席の実践型英会話教室のようであった。この事業を通じて語学に堪能な子どもが育つ期待も膨らむばかりだ。

当クラブの坂本俊介会長は子どもたちに向け、市民はもとより、横須賀市を訪れた観光客にも喜んでもらえるような奇麗な街になったことへの謝辞と、立派に社会貢献を行ったことをたたえ、子どもたちも満足げであった。

また、アメリカ海軍の皆様からも、清掃活動へ参加出来たことへの感謝と来年以降もこの清掃活動へ参加したいという希望が表明され、横須賀市民と米海軍との友好という観点からも非常に意義深い事業となった。

（会報・IT・PR委員会／高見淳）

335-D地区

兵庫県・山崎ライオンズクラブ

勉強が出来る環境づくり マニラで学校を建設

山崎ライオンズクラブ（谷口文男会長／69人）は、クラブの結成50周年を記念して、フィリピンのマニラに学校を建設した。一度に50人が学ぶことが出来る教室二つが入った校舎を、LCIFから3万ドルの交付金を受けて完成させた。2教室があるため、午前中に100人、午後に100人の合計200人が新たに就学することになる。マニラ市では学校の数が足りず、満員状態のために学校へ行けない子どもたちが数千人いるという。そこで、当クラブでは学校の建設を計画した。現地のサンパロックライオンズクラブのライオンマサオ・サトウのお力を借りることが出来たため、建築申請や建設工事業者の選定がスムーズに進み、無事に完成させることが出来た。

竣工式には白山慶三335‐D地区ガバナーを始め、キャビネット役員の皆さんに出席して頂き、当クラブからは7人が参加した。地元マニラからはライオンサトウ夫妻やサンパロック ライオンズクラブのメンバーや教育関係者、入学する200人の子どもたちとその親族や近所の人など大勢の人が集まり、盛大な式典となった。またその折、東京大森ライオンズクラブから使わなくなったランドセルの贈呈も行われた。当クラブでもそのランドセルに鉛筆やノートなどの文具セットを入れさせてもらった。その時、ランドセルを背負った子どもたちのうれしそうな顔が今も私たちの脳裏に焼き付いている。異国の地での奉仕活動によって感動を受けることが出来たのは結成50周年を記念する私たちにとっても最大のプレゼントとなった。

（幹事／中津政敏）

330-C地区

埼玉県・八潮コスモ ライオンズクラブ

青少年育成事業
前園真聖氏によるサッカー教室

八潮コスモライオンズクラブ(水谷勳会長/22人)は、スローガンである「~for children~子どもたちのために」を掲げ、2月21日に元日本代表前園真聖氏によるサッカー教室を開催した。当クラブは今期が15周年にあたり、記念事業として実施。八潮市内のサッカー少年団5チームや中学校サッカー部から115人が参加した。

開会式で現役時代の功績を紹介された前園氏は、まず体育館で練習する時の注意点を話してから体をほぐすサーキットトレーニングを実施した。そして1対1でボールを奪う練習、正確なパスやドリブルと進み、最後は各チームの選手を5~6人に分けてミニゲームを楽しんだ。前園氏も指導者チームに加わり、かつて日本代表であったことを彷彿(ほうふつ)とさせる鋭い動きやボールキープを披露した。今の小中学生にとって前園氏はバラエティー番組に出ているタレントというイメージが強いだろう。彼がプレーする度に驚く子どもたちを見て今回の事業は大成功だったと確信した。

修了後、参加選手全員に当クラブから記念品と前園氏から各チームにサイン入りマスコットボールをプレゼント。前園氏には中学生代表からお礼の言葉と小学生女子2人から花束が贈呈された。これに応えて前園氏は「日頃からミスのない練習を心掛けて、サッカーをもっと好きになってください」とエールを送った。

当クラブとしては、今後とも地域の青少年健全育成事業を継続していきたい。

(実行委員長/寺原一行)

330-A地区

東京江戸川東ライオンズクラブ、東京上野南ライオンズクラブ

カンボジアの小学校へ
井戸の贈呈と贈呈式

2015年10月19日、東京江戸川東(後藤義英会長/41人)、東京フロンティア(12月に解散)、東京上野南(11人)の3クラブは合同でカンボジア・コンポンチュナン州にあるクドールアピワット、プムチヤッツ、クランタモムの各小学校で井戸の贈呈式を行った。

この事業は秋田矢留ライオンズクラブ所属の大木正一のコーディネートで東京江戸川東ライオンズクラブ35周年・東京上野南ライオンズクラブ50周年の記念事業として実施した。

プノンペン市内から約3時間かかる場所だが、児童たちが両国の小旗を振りながら笑顔で迎えてくれた。彼らの足元を見ると、困難な状況で懸命に通学しているのが想像出来た。また、井戸から臭いのない透明な水が出た時に、大きな瞳をキラキラさせた児童たちの笑顔は忘れられない。彼らはこの井戸が無いと茶色の水が普通だと思ってしまう。それぞれ村で唯一の井戸になるため、式典には多くの村民の姿が見られた。私たちは7月に下見した時には文房具を、今回は歯ブラシ、ビーチサンダル、サッカーボールをプレゼントに持参した。

今後も一方通行ではなく、お互いが笑顔になる事業を実施したいと強く思っている。また、難しいと思うことも、志を持っていれば出来ると分かった。大きな自信となり、合同事業が方法の一つだと実感した。頻繁に現地に赴くのは難しいが、今後も見守っていきたい。

オークン!(ありがとう)

(東京上野南ライオンズクラブ会長/根岸久美子)

337-C地区

長崎県・諫早ライオンズクラブ

トークイベント「震災復興に学ぶ地域ボランティア」開催

3月11日、諫早ライオンズクラブ（119人）は文化ホール諫早パルファンにて「震災復興に学ぶ、地域ボランティア」と名付けたトークイベントを実施。150人が来場した。

このイベントは2部制で行った。1部は石巻市の㈱街づくりまんぼうの大森盛太郎氏にお越し頂き、基調講演「萬画を活かした街づくり」をして頂いた。震災の日、石ノ森萬画館に来館していた約40人を高台へと避難させ、防火責任者である大森氏が一人残ったという。

地震発生から1時間後、高さ5メートルほどの津波が石ノ森萬画館を直撃した。この時、大森氏は、3階まで駆け上がり津波から逃れた。

津波が引き、中洲にかかる内海橋の上に取り残された人々や、濁流に流されてきた人を発見した大森氏は、彼らを石ノ森萬画館内へ誘導する。大森氏と避難者約40人は救助を待ち、館内で5日間を過ごした。

大森氏はこの話を写真を交えてリアルに話された。何度も「命からがら」という言葉が出てきたことからも、当時の厳しい状況が伝わってきた。

第2部はパネルディスカッション。諫早の活性化に取り組んでいる団体の代表者が集まった。今までの活動内容や課題が発表され、今後の進め方などについて意見が交わされるなど、有意義なパネルディスカッションとなった。今後もこうした事業を進めていきたいと思う。

この日は約16万6千円の募金が集まった。このお金は、諫早市を通して被災地へと渡される。

（会長／下濱誠一郎）

332-D地区

福島県・白河、白河小峰、白河高原、東ライオンズクラブ

東日本大震災からの復興を祈願して被爆アオギリ二世を寄贈

白河市では東日本大震災の際、土砂崩れで13人が犠牲となった。市はその場所に復興記念公園を造ることを決めた。この公園は被害を後世に伝えると共に、防災拠点となる設備も備えている。そして、市から私に、公園内に植樹をしたいと相談があった。

私は広島市で被爆したアオギリ二世の苗木が配布されていることを思い出した。これは、原爆で被爆したアオギリの種を育てた苗木だ。アオギリは旧広島逓信局の中庭で被爆し、爆心地側の幹半分が熱線と爆風でえぐられた。しかし、樹皮が傷跡を包むように成長し、焦土の中で芽を吹いたのだ。73年に被爆アオギリは平和記念公園に移植されたが、広島市は平和を愛する心、命あるものを大切にする心を後世に継承するため、被爆アオギリ二世を配布している。そこで、広島市都市計画整備局・緑化推進部緑政課に連絡。白河市都市計画課の担当者と協議し、苗木の譲渡を申請した。

苗木は100周年記念奉仕のレガシー・プロジェクトとして白河ライオンズクラブ（邊見義栄会長／33人）、白河小峰ライオンズクラブ（高橋正史会長／44人）、白河高原ライオンズクラブ（仁平捷夫会長／7人）、東ライオンズクラブ（高橋一馬会長／7人）の市内4クラブ合同事業として白河市へ贈呈した。

アオギリ二世をお譲りくださった広島市に改めて厚くお礼と感謝を申し上げる次第だ。今回の事業は山田實紘国際会長のテーマ「命の尊厳と和」に通じる。この苗木を大きく育て、命と平和の尊さを伝えていきたい。

（地区名誉顧問／安澤荘一）

332-D地区

第3リジョン第1ゾーン（福島県）

地域を超えた善意のアクティビティ

　未曾有の被害を出した東日本大震災から丸5年が経過しようしていた3月8日のこと。334・B地区第4リジョン第1ゾーンの加藤謙一ゾーン・チェアパーソンからゾーンの有志の志として、332・D地区第3リジョン第1ゾーンへ50万円の支援金が届けられた。
　5年前の震災の時、ライオン加藤は所属する三重県・津西ライオンズクラブで何か支援が出来ないかと、郡山市を訪れた。そこで郡山西ライオンズクラブの存在を知り、「西」つながりから姉妹提携を結んだ。それから毎年、郡山西ライオンズクラブを通じて、被災地への支援を続けてきたのである。
　今回、この334・B地区第4リジョン第1ゾーンの取り組みが332・D地区の第3リジョン第1ゾーン全体に伝わった。そこで332・D地区第3リジョン第1ゾーンではライオンズクラブ100周年記念事業として受け取った50万円にゾーン事業として60万円を加えることを決定。そしてこれら合計110万円を郡山市に寄付することにした。
　3月30日、332・D地区第3リジョン第1ゾーンのゾーン・チェアパーソンである私と各クラブの代表がそろって郡山市を訪れ、郡山市長へ被災者の子育て資金としての活用を目的として義援金を寄付した。郡山市からはそれぞれのゾーンへ感謝状が用意され、感謝の言葉を頂いた。
　今までも姉妹クラブ同士の援助は多くあったと思うが、震災後5年を経過しても続いている地域を超えた合同事業は、まさにライオンズ精神に則ったすばらしい善意だと思う。被災者家族に代わり、心からお礼申し上げたい。（ゾーン・チェアパーソン／佐藤正廣）

330-A地区

東京イースト ライオンズクラブ

震災から5年、復興に向けて福島の空に響く歌声

　3月18日、福島県南相馬市市民文化会館で東日本大震災の復興支援を目的とする芸能福島県人会のふるさと公演「響け！福島の空へ～」が開催された。
　大震災から5年が過ぎた本年、県民に元気を与えようと地元の新聞社、福島民報社の共催で行われ、東京イーストライオンズクラブ（14人）からも4人の代表者が駆けつけた。
　会場へ向かう途中、震災後に開通した常磐自動車道の浪江町を通った。そこには無人の家々と田畑が広がっており、除染作業を行う作業員の姿がたくさんあった。またショベルカーもたくさん目にした。まだまだ復興の途中であると感じた。
　当クラブは震災翌年から支援活動を続けており、その延長として今回の参加となった。この日会場に集った700人の観客を前に、芸能福島県人会の原田直之会長（浪江町出身／さいたまハーモニーライオンズクラブ）のあいさつ後、当クラブの持田和之会長が原田会長へ復興支援への真心の寄付金を手渡した。
　この日の公演は、クラシックあり民謡ありの内容。ステージ終盤には新宿を中心に活動する当クラブの初代会長でもあり「新宿そだち」（日本コロムビア）を歌い続けるライオン高樹一郎、ライオン津山洋子（二代目会長）も熱唱。参加者の中からは「元気をもらった！」との声もかかり、最高のフィナーレで幕を閉じた。終了後には当クラブのメンバーにも来場者からの感謝のまなざしと温かい言葉を頂いた。
　この活動を『福島民報』に掲載してくださった高橋雅行社長に感謝を致します。（牧島弘充）

熊本地震

余震に疲弊する被災地に、南国沖縄から熱い エール

熊本地震で震度7を観測した西原村の避難所で、沖縄県・八重山、福岡大名両ライオンズクラブを中心とした有志連合が活動。被災から立ち上がる熊本の人たちに、熱い思いをトッピングした沖縄そばをふるまった。

被害が大きかった西原村風当（かざて）地区の倒壊家屋

熊本市から東へ約20キロ。阿蘇外輪山の西麓にある西原村は、昭和35年に山西村と河原村が合併。両村から1文字ずつをとって新しい村名とした。

今回の熊本地震では、16日未明の本震で震度7の激しい揺れを観測。住宅約2300棟のうち344棟が全壊、1087棟が半壊と、6割以上の家が大きな被害を受けた。また、倒壊した建物の下敷きになるなどして、5人の方が亡くなっている。

この災害で、村は村内6カ所に公設の避難所を開設。もともとのエリアである山西小学校と河原小学校、そして西原中学校など村役場に近い地域の施設が避難所に指定された。

最初の地震から10日が経った4月24日夜、西原中学校にライオンズの有志連合が到着した。ライオンたちは避難所の責任者と打ち合わせを行った上で、休む間もなく翌日の設営を開始。手際よくテントやテーブルなどの配置を済ませた後、車の中で仮眠をとり、翌朝の炊き出しに備えた。

今回の支援活動は、沖縄県・八重山ライオンズクラブの識名安信元337・D地区ガバナーが主導。計画は、同期のガバナーであった熊本の玉川孝元337・E地区ガバナー、阪神大震災を経験した神戸の団英男元335・A地区ガバナーと、SNSで被災地支援についてやりとりする中で具体化した。

3人は東日本大震災が発生した2011年に地区ガバナーに就任。それぞれ被災地の復興支援に向けて積極的に取り組んだ経験を持ち、今回は被災地のL玉川を中心に情報収集を図った。その中でL識名は、出来るだけ早い時期に被災地入りし、温かい沖縄そばの炊き出しをしたいと提案。L玉川から、特に被害が大きいのは益城町、西原村、南阿蘇村だと聞き、訪問先を絞り込んだ。

ちょうどその頃、東日本大震災や関東・東北豪雨水害で被災地支援を主導してきた茨城県・水戸葵ライオンズクラブのL若林純也が現地調査のため熊本入りしていた。そこでL若林に連絡したところ、すぐに西原市災害対策本部と調整をしてくれ、西原中学校での炊き出しが決まった。

L識名は早速各方面へ連絡。所属する八重山ライオンズクラブ（岡部厚志会長／39人）は八重山のそばと天ぷらを提供してくれた。また沖縄県・恩納ライオンズクラブのL宮崎るみ子が恩納村商工会女性部に声を掛けてくれ、千人分のだしとサーターアンダギー500人分を用意。サーターアンダギー作りにはライオンズの事務

震度6弱を観測している熊本県玉名市からも、八重山ライオンズクラブと姉妹提携を結ぶ玉名ライオンズクラブの大坪太夫妻が手伝いに駆け付けた

7人の会員が参加し、炊き出しブースの実働部隊として労を惜しまず働いた福岡大名ライオンズクラブの会員たち

局員有志も参加し、包装一つひとつに「チバリヨー」の激励メッセージが添えられた。現地での炊き出しは、沖縄での戦没者遺骨収集活動で交流のある福岡大名ライオンズクラブ（郷原茂巳会長／103人）が協力。更に会員同士のネットワークにより、兵庫県・神戸須磨ライオンズクラブ（西村和洋会長／53人）がカップ麺や粉ミルクなどの支援物資を送ってくれた。

こうして4月25日の早朝6時から、避難所での炊き出しがスタート。最初の1杯を通学前の高校生に出すと、その後は次々と避難所で暮らす人や、用事があって役場を訪れた村の人たちがテント前に並び、温かい沖縄そばに笑顔を見せていた。

朝食が一段落した後は、近くの村民体育館、にしはら保育園、構造改善センターの各避難所を回って声がけ。更に前日に開設したばかりのボランティアセンターと、行方不明者捜索や被災地警備に当たる警察署に人数分を出前するなど、被災地のために働く人たちも応援した。

当日は地元337・E地区の桑﨑陽彦ガバナーと玉川元ガバナーも現地を訪れ、遠方からの支援に感謝すると共に、1日も早い復興のため地元でも積極的に活動したいと話した。

（取材／鈴木秀晃）

3分間 ライオンズ アクティビティ編

保健
献血②

工夫を凝らして血液を確保

オンライン報告システム・サバンナで報告されたアクティビティを集計したところ、日本ライオンズが2014-15年度の1年間に行った献血アクティビティは約1万3500件、約70万人から2億8千ミリリットルを採血（200ミリリットル、400ミリリットル、成分献血合計）し、1億9千万円を拠出。約8割のクラブが、年度内に何らかの献血関連事業を実施していました。献血はまさに外部組織（日本赤十字社）とパートナーシップを組み全国規模での継続事業を成功させた模範例であり、日本ライオンズを代表する奉仕活動の一つと言えるでしょう。

献血アクティビティの中でも、街頭や公共施設で、またはクラブが主催する別の事業や、地域の祭りなどのイベント会場の一角で、日赤から献血バスを出張してもらって行うのが最も一般的です。ライオンズは近年、個人情報保護の観点から受付業務には関われなくなりましたが、それでも事業全体の計画や日赤との連絡、事前PR、当日の献血の呼び掛け、協力者への謝礼等々、大きな役割を担っています。

苅田工業校高校で献血を実施する苅田ライオンズクラブ

日赤によると、日本の少子高齢化が進む中で、いかに血液を確保するかが大きな課題となっています。輸血用血液製剤や血漿分画製剤の大半は高齢者の医療に使われ、その対象者は今後も増加することが予測されますが、その一方、健康な血液を供給してくれる若い世代の人口が減っていくわけです。こうした中で、多数のライオンズクラブが実施している、地元の高校や大学での献血アクティビティは大変意義のあるものだと言えるでしょう。最初は献血を怖がっていた生徒でも、趣旨を理解し経験してみると「人の役に立ててうれしい」と誇りに思ってくれるそうです。

更に、まだ献血が出来る年齢には達していない小学生、中学生のうちからその重要性を学ぶことで、16歳になったら自然に協力してくれるようになることが期待されます。皆さんのクラブでも子どもを対象とした献血に関する啓発活動を企画されてはいかがでしょうか。

その他、ライオンズ・メンバーの会社や地元企業に協力を求め、社員の集団献血を行うことも出来ます。この場合、あらかじめ採取出来る血液型や採血量の予測が立てられることも利点の一つです。一例として、『ライオン誌』2013年9月号には地元企業及び高校、大学で献血を実施している福岡県・苅田ライオンズクラブの活動を紹介していますので、参考になさってください。ライオン誌ウェブマガジンのバックナンバーでもご覧頂けます。

LCIF FILE

LCIF Development Update

ＬＣＩＦ創設50周年記念目標 後期初年度⑧

避難所転々 疲労濃く 続く余震 心に傷……新聞見出しの大きな活字「平成28年熊本地震」が被災地の苦悩を物語っています。自動車産業を始めとする日本の基幹産業の集積地が被害を受け、高速道路や新幹線など社会資本も大きな痛手をこうむりました。

4月23日、少しでも役立ちたいと被災地でのボランティアに参加しました。実際に見る惨状にあ然としました。今回の被災地は、2012年7月の九州北部豪雨と重なる地域もあります。

この熊本地震災害に対し、ＬＣＩＦは直ちに25万ドルの大災害援助金の交付を決定しました。また東日本大震災同様、千ドル以上を用途指定で献金してもＭＪＦ対象となる「特別措置」も決まりました。もちろんＬＣＩＦ創設50周年記念献金キャンペーンにも合算されますが、他の組織への寄付は、規則上ＬＣＩＦ献金としては認められません。

さて、後期初年度9カ月が経過しました。別表の達成率89％以上が順調に推移した地区と言えます。335‐Ｄ地区を始め10地区が達成、8地区が89％以上となっています。一方、60％未満1地区、70％未満5地区はがんばってください、ゴールは目前です。一人当たり献金額は334‐Ａ地区を筆頭に7地区が100ドル以上で続きますが、40ドル未満が4地区あります。

今月の実績をベースに年度末予想をしてみたところ、16準地区、5複合地区が達成と出ました。が、日本全体は99・3％の未達成予想となりました。今一歩です。よろしくお願いします。

（ＬＣＩＦ国際委員、エリア・コーディネーター／澁田繁晴）

■LCIF創設50周年記念目標

地区別献金目標額と献金実績・目標達成への必要額（ドル）　2016年3月31日現在

地区	初年度目標額	献金実績	達成率	1人当たり	MJF	目標達成必要額
330-A	296,162	165,738	56.0%	36.07	86	130,424
330-B	550,133	418,252	76.0%	100.32	283	131,881
330-C	109,191	89,448	81.9%	44.30	44	19,743
330複合	958,389	673,438	70.3%	62.45	413	284,951
331-A	301,245	200,356	66.5%	88.30	151	100,889
331-B	143,217	88,950	62.1%	39.60	58	54,267
331-C	61,401	70,219	114.4%	42.63	40	★目標完遂
331複合	512,244	359,525	70.2%	58.35	249	152,719
332-A	94,992	89,085	93.8%	50.91	55	5,907
332-B	98,629	67,780	68.7%	41.84	39	30,849
332-C	125,341	84,365	67.3%	63.10	67	40,976
332-D	189,278	196,111	103.6%	101.19	159	★目標完遂
332-E	62,551	58,210	93.1%	35.09	46	4,341
332-F	41,050	45,881	111.8%	42.25	33	★目標完遂
332複合	622,862	541,432	86.9%	57.66	399	81,430
333-A	155,669	130,383	83.8%	50.19	81	25,286
333-B	114,588	102,860	89.8%	89.60	82	11,728
333-C	201,343	193,373	96.0%	63.21	153	7,970
333-D	150,671	132,099	87.7%	78.35	104	18,572
333-E	296,510	240,070	81.0%	87.97	199	56,440
333複合	955,151	798,785	83.6%	71.19	619	156,366
334-A	1,281,309	1,207,420	94.2%	263.23	1,170	73,889
334-B	311,692	244,410	78.4%	78.66	217	67,282
334-C	268,425	251,449	93.7%	84.01	202	16,976
334-D	286,345	344,697	120.4%	90.97	278	★目標完遂
334-E	245,159	216,910	88.5%	118.66	194	28,249
334複合	2,393,389	2,264,886	94.6%	138.92	2,061	128,503
335-A	111,712	110,370	98.8%	56.00	83	1,342
335-B	571,240	564,266	98.8%	110.04	456	6,974
335-C	319,259	259,814	81.4%	69.67	189	59,445
335-D	129,468	176,544	136.4%	101.87	141	★目標完遂
335複合	1,135,236	1,110,994	97.9%	88.45	869	24,242
336-A	275,358	289,300	105.1%	57.15	190	★目標完遂
336-B	115,970	137,708	118.7%	47.39	44	★目標完遂
336-C	251,183	185,557	73.9%	59.09	122	65,626
336-D	147,352	127,054	86.2%	42.02	72	20,298
336複合	829,098	739,619	89.2%	52.34	428	89,479
337-A	388,105	433,247	111.6%	100.15	356	★目標完遂
337-B	176,808	124,076	70.2%	57.68	88	52,732
337-C	196,355	206,152	105.0%	73.86	156	★目標完遂
337-D	126,273	86,000	68.1%	38.58	56	40,273
337-E	83,174	83,771	100.7%	54.93	62	★目標完遂
337複合	993,633	933,246	93.9%	71.67	718	60,387
全国	8,400,002	7,421,925	88.4%	79.32	5,756	978,077

特集：クラブを元気にする秘訣　❶北海道・洞爺ライオンズクラブの場合

結成50年で直面した解散危機からの起死回生

一時は会員数12人に減少して解散が危ぶまれた洞爺ライオンズクラブは、わずか6年半余りで100人を超えるクラブへと成長した。奇跡的とも思える復活劇の陰にどのような取り組みがあったのか？　中心的な役割を果たした3人の会員に聞いた。（取材／河村智子）

困難を乗り越えた後の会員激減

1960年9月、洞爺湖畔の虻田町（現洞爺町）に結成された洞爺ライオンズクラブは、77年と2000年の2回、有珠山噴火を経験している。2000年3月31日に発生した噴火は的確な予知によって虻田町を含む危険地域の避難が完了し、人的な被害は免れた。洞爺ライオンズクラブのメンバーは散り散りに避難生活を送ることになり、予定していた40周年記念式典を中止。クラブは活動休止を余儀なくされた。避難地域は徐々に解除されたが、火口に近かった洞爺湖温泉地区の避難は長引いて、クラブ例会を再開出来るようになるまでには半年以上がかかった。

全国のクラブから力強い支援を受けて被災を乗り越えたクラブだったが、それから間もなく会員が減り始めた。2000年に38人だった会員は、05年に24人、07年には18人になっていた。クラブの衰えの兆候は、実は有珠山噴火の前からあった。ピーク時に100万人だった洞爺湖温泉の宿泊者数はバブル崩壊後45万人に減少し、そこに噴火が追い打ちをかけて地域経済が低迷。それに伴ってじわじわと会員が減っていった。しかし、会員減少を招いた問題は経済状況だけではなかったと、ライオン斉藤義則は振り返る。

「我々も会員の減少にただ手をこまねいていたわけではなく、一生懸命に会員増強に動いていました。ところがそれが結果につながらない。新しい会員が入ってもすぐに辞めてしまう。会員の高齢化が進んでいた上に、クラブの調和を乱すようなメンバーの言動も一部にあり、私自身がクラブに魅力を感じられないような

2000年噴火の火口と洞爺湖に面した洞爺湖温泉街

雰囲気でした」

そんな沈滞ムードで結成45周年を迎えた後、クラブの中核を担っていたL工藤憲静とL斉藤がクラブを去った。87年9月に同時に入会した二人は、00年噴火の際にはメンバーの消息確認や地区との連携に尽力するなど、クラブの屋台骨と言える存在だった。その二人がやれるだけのことはやったと、在籍20年を区切りとして力尽きるように退会。するとクラブはガタガタと音を立てるように傾き、50周年を1年後に控えた09年7月には会員12人にまで減少した。クラブ内では、50周年までもたないのではないか？　形式的にでも50周年を終えたら解散するしかない、というシナリオが描かれつつあった。

洞爺湖ライオンズクラブの例会は月1回、第3水曜日の夜に開催

50周年に向けたクラブ改革

洞爺ライオンズクラブは障害者福祉施設・清水友愛の里の園生と共にリンゴ狩りやパークゴルフ、餅つきなどを楽しむ交流を30年にわたり続けてきた。洞爺ライオンズクラブ杯を争う洞爺湖新人少年野球大会も、50周年の年で第25回を数えようとしていた。会員は減っても、地域のため、次代を担う子どもたちのための奉仕活動は途切れることなく続いていた。

そんなクラブを消滅させてはならないと立ち上がったのが、45周年に会長を務めたライオン大久保和幸だった。ライオン大久保はクラブの再建には、真のライオンズ精神を持ったライオン工藤とライオン斉藤の力が不可欠だと考え、再入会の説得を始めた。退会して外からクラブを見守っていた二人は、ライオンズは地域にとって欠かせない組織だと、改めて強く感じていた。

「50年も続いてきたクラブを無くしたくないという思いは同じでした。再入会を決意させたのは『洞爺ライオンズクラブは有珠山噴火で2回にわたり全国のライオンズの皆さんから支援を受けている。そんなクラブを簡単に解散させるわけにはいかない』というライオン大久保の言葉です。クラブに戻り、50周年を迎える前に改革が必要だと3人で知恵を出し合いました」（ライオン工藤）

2015年4月、噴火災害の記憶を次世代に伝えるために開いた「こどもふるさと体験あそび講座」

こうしてライオン大久保とライオン工藤、ライオン斉藤の3人を中心に改革が始まった。まず着手したのが会費の減額だ。年会費10万円を5万円に出来ないかと試算し、会員数が40人になれば、半額は無理だが6万円で運営が可能だという見通しを立てた。月2回開いていた例会の回数は1回に減らし、もう1回の出席はアクティビティなどへの参加を充てることにした。

「金銭的、時間的な負担を可能な限り減らして入会のハードルを下げることで、それまでの経営者中心のクラブから、サラリーマンや女性、年金生活者など幅広い層が入会出来るクラブに生まれ変わることが、この改革の目的でした」（ライオン大久保）

しかし最大の難問は、既に勢いを失ったクラブにどうやって新しい会員を誘い入れるかだった。これにはまずライオン大久保が率先して行動を起こし、自身が会長を務める医療・福祉法人の幹部職員ら10人余りの招請に成功。これが呼び水となってクラブに活気を与え、メンバー全員が必死になって声掛けを始めた。青年会議所のOBに対しても、負担を減らしたことで誘いやすくなった。かつて人間関係などを理由に退会した元会員の中からも復帰する人が出てきた。

その結果、09年10月からわずか9カ月間で新会員33人を迎えることに成功し、結成50周年は晴れて会員43人で迎えることが出来た。

次世代への継承のために

結成50周年の節目を無事に乗り越えた後も、会員数は順調に伸び続けた。新たに加わった仲間が仲間を呼び、10年には19人、11年には14人、12年には12人の新会員が入会。若い会員や女性会員も着実に増えた。

「以前は入会のお誘いをすると、ライオンズは敷居が高くて入れないという人が圧倒的に多かったのですが、今は全くありません。若い会員も増えて、これまでの人脈とは異なる人たちも入ってくるようになりました。ただ入会のハードルを下げたと言っても、やみくもに数を増やせばよいと考えた訳ではありません。クラブの調和を保つという点には十分に注意を払っています。小さな町のことですから、ライオンとしてふさわしい人物であるかどうかをしっかりと確認した上で入会してもらっています」（ライオン斉藤）

「現在はクラブ内の派閥や人間関係のもつれといったものは一切なく、会員同士が親密にコミュニケーションを取り合える非常に良い雰囲気のクラブとなりました。奉仕の精神を持った品性のある仲間が集う場として、確固たるステータスが得られた

と感じています」(ライオン大久保)

クラブ改革によって例会を月1回にしてアルコールの提供をやめた分、例会終了後の二次会には多くの会員が参加して親睦を深める機会となった。若い会員たちにとっては、これが他では築けない人間関係を築くチャンスともなった。

「若いメンバーたちは異なる業種の人たちとの交流を非常に有益なものと感じているようで、ライオンズに入会して良かったと言ってくれます。飲み会での会員同士の交流も、クラブ再建の大きな原動力になったと思います」(ライオン工藤)

昨年9月16日、結成55周年の記念日を洞爺ライオンズクラブは会員数74人で迎えた。人口9400人という小さな町のクラブが、331-C地区(道南)内で会員数最多を誇るクラブとなった。その大半は入会5年未満の会員だ。そこで、クラブの歩みを次の世代につなげていくために、過去の記録を掘り起こして保存・整理を進めると共に、クラブの歴史を収めた記念誌を発刊した。また、クラブのメンバーを中心とした祝いの会として55周年記念パーティーを開き、入会1年未満の若いメンバーたちにも実行委員の役割を振った。

今年4月の例会では入会2年目のライオン阿部博之(左)がスポンサーとなって入会したライオン高臣陽太の入会式が行われた。2人は商工会青年部で共に活動する仲間

「これから60周年、70周年と、若い人たちが主体となってクラブを引っ張っていくわけですから、そのための土台作りとして経験を積んでもらいたいと考えました」(ライオン斉藤)

「仕事を任された若いメンバーが今、同世代の仲間に声をかけて新会員を呼び込んでいます。若い人たちを本気にさせたという意味で、この55周年でクラブはまた新たな1歩を踏み出しました」(ライオン工藤)

それから間もなく、クラブは家族会員を迎えて更なる1歩を踏み出すことになった。洞爺ライオンズクラブはそれまで家族会員の招請には消極的だったが、今年度の佐々木忠康地区ガバナーの方針を受けて検討を重ね、内規で家族会員の年会費6千円とすることなどを定め、受け入れ態勢を整えた。家族の入会を強く推奨することはしなかったが、昨年12月のクリスマス家族例会では家族の入会申し込みが相次いだ。22人の家族がクラブに加わると、会員数はとうとう100人の大台に乗った。

今年4月末現在、洞爺ライオンズクラブの会員は106人。最年少は45年後の結成100周年を祝うであろう27歳の女性会員だ。クラブの存続をかけた改革で目指した通りに、幅広い層の会員たちが奉仕する喜びを共有している。

特集：クラブを元気にする秘訣　❷青森県・弘前東奥ライオンズクラブの場合

家族参加型アクティビティが津軽魂に火を付けた

弘前東奥ライオンズクラブは2011年4月、東日本大震災の被災地・岩手県山田町で炊き出しを行った。家族に手伝ってもらいながらの活動は、会員たちに一体感と達成感をもたらした。そして自然な流れでアクティビティ主体のクラブへと脱皮。今では年間70〜80件の活動を実施している。それには当然人手が必要。家族会員制度の活用や若手のクラブ支部結成により会員を増やし、今や122人の大所帯で参加型奉仕にばく進中だ。（取材／鈴木秀晃）

「もう、うちのクラブは大変なんですよ。何しろ年間70件とか80件、アクティビティをしてるでしょ。休む暇がないんですよ」

開口一番、そう切り出した鈴木恵津子会長だったが、口とは裏腹、表情は実に楽しそうだった。

取材をした4月21日には弘前さくらまつりが行われていた。弘前公園の桜は日本一と称され、毎年200万人が訪れる。弘前東奥ライオンズクラブはさくらまつりに合わせて、追手門広場で資金調達事業を実施していた。前日の20日から5月1日まで、実に11日間のロングラン・アクティビティで、弘前東奥ライオンズクラブの真骨頂とも言える事業だった。

きっかけは東日本大震災

ちょうど5年前の2011年4月21日、弘前東奥ライオンズクラブは岩手県山田町で炊き出しを行った。この時、弘前名物のかに汁と、手作りのおにぎりを東日本大震災で被災した山田町の人たちに食べてもらった。

弘前市から山田町までは約270キロ。車で4時間以上かかる。かに汁を担当する鍋班の7人は夜明け前の4時に弘前を出発し、午前9時から山田町の保健センター前で鍋の仕込みにかかった。

かに汁は、桜の名所・弘前の花見に欠かせない津軽地方定番の季節食。

さくらまつりでは毎年、弘前市旅館ホテル組合により提供され、花見客から人気を集めている。山田町には名物の大鍋を持参し、陸奥湾から直送したとげくりかにを使って弘前の味を再現した。とげくりかには普通のかによりみそが多く、味が濃厚なため、非常においしいだしとなる。

一方のおにぎり班10人は、夜中の2時にメンバーが経営するホテルの厨房に集合。居残り組の会員や会員家族と共に、4時間をかけて1200個のおにぎりを作り上げた。買うのではなく、メンバー自ら握りたいという気持ちが強く、被災地を思いながらひたすら握り続けた。この時、大きな戦力となったのが会員家族だった。夫人たちが協力してくれたおかげで、おいしいおにぎりが出来上がった。

おにぎり班が山田町に到着した時、おにぎりはまだ温かさを保っていた。この日は三陸地方特有のやませが吹き、寒い1日となったが、体の芯から温まるかに汁の炊き出しと、温かいまま配られたおにぎりに、山田町の人たちは心からうれしそうだった。「東北はひとつ」とシールが貼られたおにぎりには、被災地に寄せる思いが込められ、山田の人たちにもその温もりが伝わったようだ。

支援ネットワークの結成

弘前東奥ライオンズクラブは一時30人台まで会員が減少していた。その後、少しずつ会員増強に励み、震災があった2010・11年度の期首会員数は43人となっていた。更にこの年、若手を中心に新会員を迎え入れ、震災時には54人まで回復。若手も増えたことから被災地に入って支援活動を行う機運が盛り上がり、この事業へとつながった。

クラブでは当初、被災地支援を継続することは考えていなかった。が、福井県・鯖江王山ライオンズクラブからもたらされたある提案が、クラブの方向を変えた。それは、東日本大震災の支援クラブで緊急支援ネットワークを作りたいというものだった。

クラブはこの呼び掛けに応じ、京都で開催された最初の会合に代表を送った。代表の一人、ライオン木村知紀はその時の様子を次のように話す。

「実際はとりあえず行ってみようか、という軽い感じで参加したんです。集まっていたのは、ライオン誌の震災特集号に取り上げられていたクラブでした。それがみんな熱いんですよ。で、これは本腰入れるべきだって気持ちが変わりました」

木村(ライオン)がその様子を理事会で報告すると、すぐに次期会長が反応。理事会も本気モードになり、自クラブのスキルアップと、全国のクラブや被災地のクラブと支援を通してつながることを目標に、被災地支援活動を継続することを決めた。

その後、年度が替わって復興支援委員会が発足。緊急支援ネットワークの参加クラブが提供した米を仮設住宅に配る共同支援活動「サークル米」や、弘前のよさこいチーム花嵐桜組を伴ってのストリートライブ、被災地の方たちを弘前の雪祭りに招く「笑顔プロジェクト」など、次々と支援活動を展開していった。

これら一連のアクティビティは、他の事業委員会を大いに刺激。自分たちも負けてはいられないと、復興支援以外の活動も活発になった。

「私は2011年3月、まさに震災の2、3日前に入会したんですが、被災地支援活動が次々と打ち出されるのを見て、ものすごくモチベーションが上がりました。実際に被災地にも行かせてもらいましたし、他の委員会からも新しい事業の提案があって、これはいいクラブだなあ、と完全にはまってしまいました」

と、福士秀文幹事は話す。

アクティビティが会員を呼ぶ

こうしてクラブは、どんどんといい方向へと進み始めた。

「みんな熱い思いがあるから良い雰囲気になります。例会の出席率も上がったんですよ。使命感があるし欠席者も少ないから、物事がすぱっと決まるんですよね。だから、例会が楽しいです。ドネーションも、それまでより多く集まるようになりました。若い人が一生懸命やっている姿を見て、上の世代が応援してくれているんです」(木村(ライオン))

若い人からもアイデアが出やすい雰囲気となり、アクティビティの企画が続々と生まれてきた。そうなると、アクティビティを実施するために会員増強が必須となった。そこでクラブが目を付けたのが、家族会員制度だった。当時、地区内ではなじみの薄いプログラムだったが、クラブ理事会はこれを承認。13年1月に15世帯19人の子会員が入会して、会

員数は72人となり、年度末には82人（22世帯／子会員29人）まで躍進した。更に翌年度には若い人たちにも参加してもらおうと、若手中心のクラブ支部を結成。会員数はついに100人の大台を超え、14年6月末112人、15年6月末131人と、いつしか大所帯になっていた。

アクティビティ面では支部結成を機に、防風林の植樹や河川清掃など、環境関連の参加型事業が始まった。これには家族会員の中でも比較的若い世代の参加が多く見られ、クラブは更に活性化していった。

そんな中、問題も出て来た。昨年、古くからの会員が亡くなるなど会員の退会が続いたのだが、親会員が退会すると、子会員も一緒に退会した。またクラブ支部に関しても、今年度に入って会費の見直しを行ったところ会員が大幅に減少。現実を突きつけられ、順風満帆だったクラブに、やや暗い影が差し始めた。

それでも、アクティビティ中心路線に揺るぎはない。その中でも事業資金獲得アクティビティでは、家族や若手が大きな戦力となっている。

「今日も外で出店していますが、さくらまつりは11日間もあるので、ローテーションを組んで活動をしています。平日が多いですから、家族の協力は欠かせません」（鈴木会長）

弘前東奥ライオンズクラブには六つの事業委員会があるが、一つは事業資金獲得委員会で、さくらまつりの他にも、秋の津軽食と産業祭り（3日間）など、年に数回はイベントに出店している。家族や若い人たちが楽しげに活動する姿は、多くの市民の目に触れることになり、それがまた会員増強にもつながっている。

「活動が多いとメディアに取り上げられる頻度も多くなり、弘前東奥ライオンズクラブというブランドが市民に周知され始めているようです。先日入った新会員の方が、他の団体からも誘われていたが、入るなら弘前東奥に決めていたと話してくれました。うれしかったですね」（鈴木会長）

クラブでは現在、今後更に家族や女性の参加を促進してくため、FWTメンバーに陣頭指揮を執ってもらって、新たな参加型アクティビティを模索している。弘前東奥ライオンズクラブ第2章の始まりか。

国際理事だより

■国際理事
安井克之
（北海道・旭川東）

一人ひとりがライオンズを強化する

皆様こんにちは。皆様にはご健勝にて、ライオニズムの高揚並びに「アスク・ワン（一人誘おう）」の実践にご尽力頂き、ご精進のこととお喜び申し上げます。早いもので国際理事に就任してから季節は一巡し、北海道も爽やかな初夏を迎えて空は真っ青、太陽はさんさんと輝いています。先日、国際本部のスコット・ドラムヘラー事務総長から、アスク・ワンを実施する上でのポイントを示した資料を入手しました。皆様にも役立てて頂きたく、ここに要点をご披露致します。

○私たちは年間2億人への奉仕を目指します

「ニーズがあるところに、ライオンズがいる」。年間2億人とは大胆な奉仕目標ではありますが、達成は可能です。この目標を今後5年以内に達成するべく、今、行動を起こしましょう。現在私たちは年間7500万人に奉仕をしています。更に多くの人々に奉仕するためには、新クラブを結成すると共に既存クラブでは現会員を奉仕に引き込み、活動を記録し、更に発信していく必要があります。今すぐに腰を上げ、行動を起こそうではありませんか！

○より多くの会員が入会すれば、より多くの奉仕活動が可能になります

一人の会員の奉仕による受益者は50人です。一人勧誘するごとに、そして一つ新クラブを結成するごとに、2億人への奉仕を目指すという私たちの目標に近づくのです。新クラブ結成、新会員獲得に今すぐ取り掛かり、より多くの人々の暮らしが向上するように手助けをしてください。

○いくらであろうと重要です

LCIFは1968年の設立からこれまでに、8億ドル以上の奉仕を実施してきました。皆様の支援があれば、50周年を迎える18年までに、10億ドルに到達することが出来るでしょう。今こそ、これまで以上にライオン一人ひとりの献金が必要とされています。金額の多寡は重要ではありません。例えばたった1ドルあれば、一人の子どもをはしかから救えるのです。各クラブのそれぞれの会員が、LCIFへ献金することを誓ってください。

○次世代のリーダーを育ててください

ライオンズの青少年育成支援への決意が揺らぐことはありません。未来は子どもたちのものです。今、世界人口の半分以上を30歳未満が占めています。私たちライオンズはレオクラブやライオンズクエストといったプログラムを通じて、150を超える国々の青少年を支援しています。これからもより一層、次世代のライオン、リーダーの育成に手を貸してください。

これらを参考に会員増強、クラブ強化にご尽力ください。今すぐ行動を展開されますようお願い申し上げます。

いよいよ第99回福岡大会の開催が近づいてまいりました。寛容の精神を持って、世界各国のメンバーと相互理解と親睦を図る大切な機会です。ぜひ皆様お誘い合わせてご参加ください。

ライオンズ・ニュース・カセット

LIONS NEWS CASSETTE

国際第2及び第3副会長候補者

4月20日時点で、2016-17年度の国際第2副会長に3人、国際第3副会長には6人が立候補している。選挙の投票は福岡市で開催される第99回国際大会最終日の6月28日に行われる。

■国際第2副会長候補者

サリム・ムサン（レバノン・ベイルート）97～99年国際理事。ベイルート・セントガブリエル ライオンズクラブ会員で、国際理事会アポインティー、DGEセミナーのグループ・リーダーを各2回、いくつかの指導力フォーラムの委員長を務める。3カ国語に堪能で91カ国を訪問。国際大会に連続27回、エリア・フォーラム62回、40以上の地域会議に出席。

ウォルター・R“バド”ワール（アメリカ・イリノイ州ストリーター）03～05年国際理事。元リスク・マネージャー、ヘルスケア分野の財団のコーディネーターで、ストリーター・ハードスクラブル ライオンズクラブのチャーター・メンバー。累進MJFで、職域や地域の組織でも活躍している。11年USA／カナダ・フォーラムの委員長、視力ファースト・キャンペーンのナショナル・コーディネーター、12年選挙委員会委員長、国内及び国際的なセミナーのプレゼンターを務めている。

グッドラン・ビョート・イングバドター（アイスランド・ガルザバイル）10～12年国際理事。ガルザバイル・アイク ライオンズクラブのメンバーで、アイスランド大学教育研究機関の副理事長。数々のライオンズ指導力研究会、国際大会でプレゼンターを務める。累進MJFで多くのアワードを受賞、いくつかの地域及び職域の組織で活躍している。

■国際第3副会長候補者

ジュンヨル・チョイ（韓国・釜山）96～98年国際理事。不動産会社社長で、77年から釜山第一ライオンズクラブのメンバーであり、第95回国際大会ホスト委員会委員長、第39回OSEALフォーラム組織委員長を務める。累進MJF、LCIFヒューマニタリアン・パートナーであり、親善大使賞受賞者。釜山スポーツ協会理事、東亜大学校同窓会副会長。

パトリシア“パティ”ヒル（カナダ・エドモントン）心理学者でエドモントン・ホスト ライオンズクラブ会員、07～09年国際理事。USA／カナダ・フォーラムの委員会メンバーで、視力ファースト・キャンペーンⅡの多国間コーディネーターを務め、北アルバータ・ライオンズ眼科研究所の元理事、また多くのフォーラムや大会でプレゼンターを務めている。累進MJFであり、GLT会則地域2のリーダー。インスパイアリング・ウーマン賞を受賞し、多くの職業及び地域組織で活躍している。

ホザニ・テレズィーニャ・ヤンケ（ブラジル）08～10年国際理事。ジャラグア・ド・ソル ライオンズクラブ会員で、元教師、弁護士。累進MJF、ヘレン・ケラー盲人の騎士賞の受賞者で、国際大会18回、FOLACフォーラム13回出席。地域や職域の多数のグループで活躍し、支援を必要とする子どもたちの権利やがん予防意識向上を推進している。

キャロリン・A・メシエ（アメリカ・コネチカット州ウインザーロックス）11～13年国際理事、14～15年国際理事会アポインティー。元専務理事、低視力療法士で、90年にウインザーロックス ライオンズクラブに入会。累進MJFで

あり、6回のUSA／カナダ・フォーラムでプレゼンターやモデレーターを務め、ニューイングランド・ライオンズ協議会で活躍。職域や国際協会から多数の表彰を受け、親善大使賞受賞者でもある。

ファブリシオ・オリヴェイラ（ブラジル・カトレードローシャ）06〜08年国際理事。企業経営者で85年からカトレードローシャ ライオンズクラブ会員。累進MJFで、グローバル視力メダル、親善大使賞、10回の国際会長賞を受賞。地区ガバナー・エレクト・セミナーのグループリーダーを2回務めた。職域や地域の多数の組織でも活発に活動している。

スティーブン・D・シェラー（アメリカ・オハイオ州ニューフィラデルフィア）80年からドーバー ライオンズクラブの会員。公認会計士で、ニューフィラデルフィアの公立校の元最高財務責任者。累進MJFであり、ライオンズと業界で多数の表彰を受ける。06〜08年国際理事で、4年間にわたりGMTエリア・コーディネーターを務め、最近ではLCIFクエスト諮問委員を務める。

福岡国際大会直前情報

第99回国際大会の多彩なプログラムの中から、主な催しを紹介する。大会総会及びインターナショナル・ショーの会場はヤフオク!ドーム、展示ホール・投票の会場はマリンメッセ福岡、本部ホテルはヒルトン・シーホーク・ホテル。

■インターナショナル・パレード（25日10時〜）

ライオンズクラブ国際協会 第99回国際大会

公示

国際付則第6条第2項に則り、ここに2016年国際大会の公式通達をいたします。第99回国際大会は日本の福岡で開催されます。大会は6月24日午前10時に開会し、6月28日に閉会します。本大会の目的は、国際会長、第1、第2、及び第3副会長、並びに17人の国際理事の選出、及び本大会前に正規の手続きを経て提出されたその他議事の処理にあります。

福岡は古さと新しさが見事に調和した、優雅で魅力的な都市です。日本最古の禅寺の在る場所であり、また最先端の食文化を誇る土地でもあります。豊かで新鮮な海の幸、伝統的祭りの数々、そして日本で最も多いと言われる屋台など。歴史的に、福岡は二つの古い町、美しい城下町福岡と、活気ある港町博多が一つになった都市でもあります。

大会開催中の5日間は、魅力的な講演、ワールドクラスのエンターテイメントや伝統音楽、舞踊や土地の料理により彩られます。ライオンズはまた、国際大会の伝統的呼物である壮大なパレード、新国際会長の就任式、驚くべき範囲と規模で展開されているライオンズクラブの奉仕活動を示す3回の総会も楽しまれることでしょう。インドの人権活動家で2014年ノーベル平和賞受賞者であるカイラシュ・サティーアーティ氏が、今大会の基調講演者として力強く語りかけます。「国境なき医師団」が2016年ライオンズ人道支援大賞を授与されます。平和ポスター及び作文コンテスト受賞者の発表も大会中のハイライトといえるでしょう。

国際大会は、友好を深め、楽しみ、そして学ぶ、素晴らしい経験の機会がぎっしりと詰まった1週間です。日本のライオンズはよく知られた日本の「おもてなし」を存分に発揮して訪問者を迎えてくれるでしょう。人々に命の尊厳をもたらす意思をさらに強固にするために、福岡に集う何万人ものライオンズの仲間に加わって頂きますように、強く願っております。

2016年5月2日　アメリカ合衆国イリノイ州オークブルックにて
心をこめて

ライオンズクラブ国際会長
山田 實紘

福岡市の目抜き通り、明治通りの博多座付近をスタートして中洲を通り、福岡市役所付近までの約1キロを行進する

■インターナショナル・ショー（25日19時～20時15分）日本を代表するアーティスト、谷村新司氏と九州交響楽団、DRUM TAO（タオ）が出演予定

■第1回総会／開会式（26日10時～13時）山田国際会長の年次報告、フラッグ・セレモニーが行われる

■第2回総会（27日10時～12時半）プレストンLCIF理事長が1年間の活動を振り返り、国際第2副会長及び国際理事の候補者が演説

■投票（28日7時半～10時半）代議員による国際会長、第1～第3副会長、国際理事の選挙、国際会則及び付則改正案の賛否投票が行われる。投票を行うには、前日までに代議員資格審査を受けなければならない

■第3回総会／閉会式（28日10時～13時半）ハイライトは2016・17年度国際会長の就任。新国際会長が就任を宣誓し、自らの方針を発表する。地区ガバナーの宣誓も行われる

334・E地区内にライオンズクエスト実践校が登場

【飯田重光334・E地区ライオンズクエスト第1委員長】3月23日、24日の2日間、第6回ライオンズクエスト・ワークショップ（WS）が、長野市立東部中学校で開催されました。今回の開催は、第4回WSに参加された東部中学校の先生がライオンズクエスト・プログラムの必要性を自校の村田公希校長先生に訴え、第5回WSには村田校長自ら参加して重要性を感じて頂いたことから実現したものです。東部中学校を始め、長野日本大学学園長野小学校や周辺の小学校の先生方にもご参加頂き、活発なWSとなりました。24日には中島恵理副知事が視察され、334・E地区と長野県との包括連携協定により、ライオンズクエストに対する理解が深まったと感じています。東部中学校では4月からライオンズクエストの授業を毎週水曜日に組み入れ、年間約30時間導入することが決まりました。また、長野日本大学学園長野小学校でも年間11時間程度の導入が決定しております。

334・E地区（増田悌造地区ガバナー）にもいよいよ実践校が登場しました。ここまで努力された先輩ライオンに敬意を表し、今後更なる推進に尽力してまいります。

336・B地区を挙げたミャンマーの子どもたちに命の泉を

【尾崎博336・B地区ガバナー】336・B地区（鳥取県・岡山県）では、今年度発足した家族及び女性チーム（FWT）が企画した「ミャンマー《命の泉》井戸建設プロジェクト」への取り組みを開始しました。民主化が進むミャンマーではヒ素に汚染された水が飲料水として使用されており、それが原因で子どもたちが病気に苦しみ、失われる幼い命も少なくありません。これに注目した有本みどりFWT地区コーディネーターは、FWTの目的の一つでもある家族及び女性のアクティビティ参加を促進する企画として、ミャンマーでの井戸建設プロジェクトを提案。山田国際会長が提唱されている「子どもの尊厳イニシアチブ」にも沿うものとして、地区を挙げたアクティビティとして取り組むこととしました。プロジェクトではまず資金獲得事業として、井戸建設で協力頂く認定NPO法人アジアチャイルドサポートの池間哲郎代表理事を講師に迎え、4月30日に岡山市民会館にて講演会を開催。加えてFWTメンバーによるバザーや募金活動も行いました。事業推進のために地元マスコミを始め団体や企業にも後援を要請し、岡山大学医学部の外部団体認定NPO法人日本・ミャンマー医療人育成支援協会や、岡山商工会議所の岡山・ミャンマー友好推進会議からも応援を頂きました。更に学校関係では課外学習として、講演会に子どもたちを団体で出席させてくれた学校も数校あります。当地区FWTによる小さな発想が、地域の中で大きな反響と

成果を呼ぶ結果となりました。この講演会の成功により、FWTメンバーの「女子力」のすごさを改めて認識させられました。また、FWTにとっては今後のライオンズ活動における大きな励みになったことと思います。

当地区FWTはこのプロジェクトの他にも、100周年記念奉仕チャレンジの食料支援分野の取り組みとして、ネパールのマハンカール小学校の給食支援のために書き損じ・使い残し葉書・切手の収集を行っています。この事業に関心のある方は、336‐B地区キャビネット事務局（TEL：086‐232‐7722　Eメール：info@lc336b.org）へお問い合わせください。

会議録

■第8回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議（3月21日）①「一般社団法人日本ライオンズ」について②国際理事候補者ローテーションの確認（332複合地区）③複合地区年次大会共通提案④ライオンズ次世代リーダー研究会（4月2日名古屋市）⑤ライオンズクラブ・ダイナースクラブカード提携⑥日本ライオンズ事務所統合委員会会議報告⑦その他報告事項⑧各種会議要録・委員会報告⑧日本ライオンズ事務所運営関係

■第4回複合地区国際大会委員長連絡会議（3月28日）【第Ⅰ部】パレード・ルート及び各会場下見【第Ⅱ部】複合地区国際大会委員長及び第99回福岡国際大会ホスト委員会代表との会議①大会登録者数及び代議員予備登録者数②大会登録バッジの取りまとめ③大会キットの受け渡し④インターナショナル・パレード⑤各複合地区割り当てホテルルーム数一覧（3月25日）⑥日本ライオンズ代議員会・朝食会⑦大会最新日程及び最新情報⑧代議員資格証明と投票手順

■第4回複合地区会則委員長連絡会議（4月11日）①前回会議要録の確認②サバンナ国際理事会決議事項要約の確認③議長連絡会議からの検討事項⑴一般社団法人 日本ライオンズ⑵複合地区会則改正案⑶国際理事候補者推薦④複合地区会則案の検討⑤2016‐17年度ライオンズクラブ役員必携の注文部数確認⑥ライオンズ必携第56版の製作⑦その他

■第9回ライオン誌日本語版委員会（4月7日）①ライオン誌日本語版の運営②事務所統合委員会③2016年4月号（3月18日見本／9万7100部発行）出来④5月号記事内容の確認⑤6月号以降台割（案）⑥ライオン誌デジタル化⑦その他

■第9回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議（4月21日）①【緊急】熊本地震災害義援金②複合地区年次大会共通提案及び複合地区会則改正案③日本ライオンズ事務所統合委員会会議報告④ケニヤ学校建設支援⑤第99回福岡国際大会関連⑥MyLCIとサバンナ（IT委員長連絡会議）⑦全国青少年健全育成アクティビティ・コンペティション（330複合地区）⑧各種会議⑨日本ライオンズ事務所運営関係⑩その他

新結成クラブ

東京一ツ橋（岩崎欽二会長／21人）▼4月6日認証▼スポンサー／東京赤坂

兵庫県・宍粟なでしこ（川本こず江会長／20人）▼4月18日認証▼スポンサー／山崎

訃報

■元国際役員

倉益芳太（山口）

4月5日死去。86歳。08年度336‐D地区ガバナー。

■献眼者

3月＝荻原久男（栃木県・大田原）

◎ライオンとしての多大な功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

Touchstone Stories　試金石ストーリー 4

WHERE THERE'S A NEED THERE'S A LION
SINCE 1917 100

ライオンズの100年の歴史と奉仕活動の足跡を伝え、その真価を物語るストーリーの数々を紹介します。
写真とテキストは100周年ウェブサイト（lions100.lionsclubs.org）でも閲覧出来ます。

ライオンズクラブ国際大会

1925年、生まれてわずか8年目のライオンズクラブ国際協会は、その年次大会をアメリカ・オハイオ州エリー湖岸のシダーポイントで開きました。オハイオ州のライオンズは4千人の出席者を迎える計画でした。実際には7500人が集い、『ライオン誌』は次のように報告しています。

「例え誰かと相部屋だったとしても、浴室付きの部屋に入れた彼は幸運だった。しかし、言い方を改めるべきかもしれない。『そもそも部屋に泊まれた者は幸運であった』と」

1925年、オハイオ州シダーポイントでの国際大会に集ったライオンズ

ヘレン・ケラーがライオンズに「暗闇と闘う盲人の騎士」になってほしいと呼び掛けたのは、この大会でのことでした。ニュージャージー州ニューアーク出身のベン・F・ジョーンズ次期国際会長（当時）は「これまでで最もすばらしい大会」と呼び、こう述べています。

「前例のないほど多くの代議員とゲストのために不便を感じている皆さんも、きっと笑顔で過ごされるはずです。実に喜ばしいことに、この偉大な協会はビジョンを持った人々を育てています。彼らは私たちのリーダーとして、各国の政府が私たちを前代未聞のすばらしい未来へと導いていく手助けをしてくれることでしょう」

1945年を除いて毎年開かれてきた国際大会は、年々その規模、力、質を高め続けています。33年にミズーリ州セントルイス大会で可決された決議を受けて、それ以降の大会では代表を出している各国の国歌を演奏することになりました。この慣行は後にインターナショナル・パレードへと進化し、2015年には120カ国1万人のライオンズが、多くは母国の民族衣装をまとって行進しました。

国際大会では新国際会長が選出され、ライオンズの州選抜バンドが力強く演奏を競い、数々のセミナーが開かれます。旧交を温め、新しい友人を作る機会にもなります。1987・88年度に任期を務めたカナダ・アルバータ州のブライアン・スティーブンソン元国際会長は、世界中の仲間と過ごした国際大会をこう振り返ります。

「最大の恩恵の一つは仲間と結ぶ友情です。国際大会にはありとあらゆる人々が集まってきます」

昨年のホノルル国際大会は近年で最大級のものとなり、約2万人のライオンズとその家族が5日間を楽しみ、ライオンズに関する知識を深めて過ごしました。「世界中から集った千差万別の人々と出会うことは、とても魅力のある、大変すばらしいことです」と、ある参加者は述べています。

国際大会はまたとない機会であり、ライオンズクラブの成長を目の当たりにすることが出来ます。また同時に、ライオンズが今後も1世紀を超えて、世界中で奉仕を続けていく理由ばかりでなく、そのための方法を吟味する場でもあるのです。

ライオンズ国の国旗が登場する第1回総会のフラッグセレモニー

会員増強プロジェクト・チーム

会員倍増計画リポート⑨

◎FWT会則地域副リーダー報告
◎3月第1位：330-A地区ガバナー報告

◎日本ライオンズここにあり

FWT会則地域副リーダー／鈴木誓男

3年前、山田實紘国際会長がドイツ・ハンブルクにて国際第2副会長に就任した折に、会員倍増計画を皆様にお願いされました。これには国際協会の会員減少に歯止めをかける思いも十二分にありますが、日本ライオンズの会員の皆様に元気になり、ライオンズを楽しんで頂き、そして日本ライオンズの心意気・底力を示すことを願う気持ちからであります。

もちろん忘れてはならないことは、奉仕をする・奉仕をさせて頂くことにあります。その奉仕の手の数を増やすため、奉仕の量を増やすために家族会員の入会をお願いしているところであります。奥様及び女性の方々に入会して頂くことにより、女性目線のすばらしい奉仕が出来ると思います。そして子どもさんに入会して頂くことにより、ライオニズムを継承することが出来ます。更なる家族会員の入会・会員増強をよろしくお願いします。

◎3月第1位：330・A地区

地区ガバナー／近藤正彦

当地区が特に推進しているのは家族会員の活用とクラブの活性化です。

各クラブには家族会員4人枠を最大限使った増強を勧めていますが、クラブや地区の中に家族及び女性の居場所があることが重要です。そこで女性参画・レオ推進委員会への諮問事項に、「会員増強委員会と連携して徹底した女性会員増強」「女性会員間の連携強化と居心地のよい交流システムを構築」を盛り込みました。3月には委員会主管で「本音で話そう！」を趣旨に女性会員中心の交流会を開催しました。

質の向上も伴った会員増強にはアクティビティによるクラブ活性化が必要です。充実した活動で活性化したクラブは新会員を誘いやすくなる上、評判を聞きつけて入会を希望する人が出てくると考えます。そこで、クラブアクティビティ活性化プロジェクト（CAP）委員会を新設し、アクティビティコンペティションを開催しました。地区ホームページで公開投票を行ったため、他地区メンバー、更には一般市民からも投票を頂いて最優秀賞1クラブ・優秀賞2クラブを決定しました。

こうした取り組みの成果か、3月末時点では510人の入会（純増181人）となっております。

3月新会員数ベスト6地区

☆第1位　330-A地区
83人（累計510）増
近藤正彦地区ガバナー

☆第2位　333-E地区
78人（累計524）増
下川利澄地区ガバナー

☆第3位 336-B地区
61人（累計490）増
尾﨑博地区ガバナー

☆第3位　331-A地区
61人（累計238）増
安部尚明地区ガバナー

☆第5位　332-B地区
52人（累計183）増
筒井學地区ガバナー

☆第6位　336-C地区
51人（累計563）増
片岡文彰地区ガバナー

（国際本部集計／3月末現在）

福岡国際大会への道 ⑩

ライオンズ会員としての誇りを感じる国際大会に

99th International Convention
2016 Fukuoka Japan
Do for People
Do for World

国際大会を彩るブルーインパルス

航空自衛隊の航空祭を始め、国民的な大きな行事などで華麗なアクロバット飛行を披露する専門のチーム、ブルーインパルス。宮城県松島基地の第4航空団に所属するチームの正式名称は「第11飛行隊」です。ブルーインパルスのパイロットは、航空自衛隊の戦闘機パイロットから選出された精鋭の隊員であり、航空自衛隊を代表して、そのすばらしい操縦技術を披露してくれます。青と白にカラーリングされた機体が、大空で展開する一糸乱れぬフォーメーション、そしてダイナミックなソロ演技、次から次へ繰り広げられる驚異のパフォーマンスに、地上は大きな感動と歓喜の声に包まれます。初めて見る人にとっては驚きの連続に違いありません。その美しく雄大、華麗にして精密な飛行は、内外から高い評価を得ています。

今回、第99回ライオンズクラブ国際大会の開催に合わせて、このブルーインパルスが福岡の大空を舞います。6月25日のインターナショナル・パレードの開催中に事前訓練飛行を行い、26日の第1回総会の後、福岡ヤフオクドームの上空で展示飛行が行われます。参加者の皆様は総会終了後、ドーム周りに移動して、上空で繰り広げられるブルーインパルスの演目をご観覧ください。大会に参加される会員の皆様に、夢と感動、そしてライオンズクラブ会員としての誇りを感じて頂ければ幸いです。

円滑なパレード運営にご協力を

今大会のインターナショナル・パレードには国内外から約1万人の参加が予定されています。今回、福岡市と福岡県警のご協力の下、市内の目抜き通りである明治通りでのパレード実施が実現しました。ただし、パレード・ルートやその周辺道路は、普段から交通量が非常に多い地域のため、当日は交通渋滞の恐れがあります。安全で滞り無いパレード実施のためにも、次の2点について皆様のご協力をお願い致します。

①集合地点及び解散地点へは徒歩もしくは公共交通機関（福岡市地下鉄空港線／中洲川端駅下車）での移動をお願いします。

各団体で手配した貸切バスや車両の交通規制エリア内への乗り入れは禁止です。規制エリア外で乗降車をお願いします。また、貸切バスの待機場所は国際協会の指示に従い、周辺道路の混雑回避にご協力お願いします

②集合エリアの混雑回避のため、集合時間を複合地区ごとに指定しております

■集合～ゴールまでの目安

【330～333複合地区】
9時：整列エリアの旧冷泉小学校グラウンド集合・整列
9時20分：スタート付近へ移動
10時03分頃：スタート
10時17分頃：ゴール着

【334～337複合地区】
9時半：整列エリアの旧冷泉小学校グラウンド集合・整列
9時50分：スタート付近へ移動
10時18分頃：スタート
10時32分頃：ゴール着

＊旧冷泉小学校に隣接する冷泉公園にインフォメーション、仮設トイレ、救護所を設置します
＊集合時にミネラルウォーターのペットボトルを配布します
＊集合場所からスタート付近への移動はパレード委員会スタッフが誘導します

すばらしい大会になるよう皆さまのご協力をお願い致します！

●岩手県・陸中宮古ライオンズクラブ

行政によるハード面の復興をソフト面で後押し

長國寺の日本一大熊手が奉納されている宮古魚菜市場

4月4日、宮古市長の新年度最初となる記者会見が行われ、市長は今年度が復興計画における再生期の最終年度に当たることを説明。災害公営住宅や区画整理など、住まいの再建に向けたハード面での整備が今年度中に完了する見通しを示した。

市は最大級の津波が発生した時の浸水予想域については、高台移転を基本に復興計画を策定している。宮古市最大の津波被害を出した田老地区では山を切り開き、面積約25・5ヘクタールと、県内最大規模の高台団地を整備。東日本大震災の津波最大遡上高よりも高い海抜40〜60メートルに住宅、30メートル以上の場所に公共施設を配置することを計画している。

宮古市ではこうして災害公営住宅の完成や防災集団移転促進事業の進展などが具体化しつつあり、それに伴って仮設住宅の空き家が増えている。そこで、校庭などの学校の敷地に建つ五つの仮設住宅団地を手始めに、仮設住宅の撤去・集約化が図られている。

また、津波被害で不通になっているJR山田線については、三陸鉄道に移管し北リアス線・南リアス線と一体的に運営していく方向で調整が整った。既に宮古〜釜石間の復旧工事が始まっており、JRでは岩手国体がある今年秋までに、宮古駅からお隣・山田町の豊間根（とよまね）駅までと、鵜住居（うのすまい）駅（釜石市）〜釜石駅間を先行して開通させたいとしている。

このようにハード面での整備が着々と進む中、陸中宮古ライオンズクラブではソフト面で復興をバックアップしている。その中心は、被災者の自立を目指し、LCIF交付金を得て作った「みやこ体験広場」だ。広場では、着物のリメイクを中心に裂き織り（緋紗（ひさ）織）などを作る手創工房「輝きの和」や、うに殻から抽出した色素を使う染物工房、またそれら製品のショールームと、無料の交流スペースが併設されている。

このみやこ体験広場には、島根県・浜田亀山ライオンズクラブが継続的に支援する他、332-A地区第4リジョン第1ゾーン（青森県・三沢、十和田、十和田稲生、野辺地、十和田湖、十和田おいらせ、三沢木崎野、七戸）も買い物ツアーを実施するなど、他地区のライオンズからのサポートもある。また宮古市には震災後毎年、332-A地区の有志会員により、浅草・長國寺の日本一大熊手も奉納されている。奉納場所の一つ・宮古市魚菜市場は、三陸沖から水揚げされた新鮮な魚介類や水産加工品、地元農家が作った野菜がずらりと並び、宮古市民の台所とも言われている。

着物リメイクの中でも、「輝きの和」イチ押しの裂き織りスリッパ

4月からはその一角に「輝きの和」の販売コーナーも設けられており、工房の作り手たちは、自分たちが作ったものが売れれば自信になると、魚菜市場への出店に期待を寄せている。また、陸中宮古ライオンズクラブは今後の展望として、工房の製品を広く知って頂くため、各地のイベントなどに呼んでもらえれば、と話している。

（取材／鈴木秀晃）

3.11リレー連載⑳

命を守る道

須賀原 チエ子
（岩手県・陸中宮古ライオンズクラブ）

すがわら・ちえこ　1957年岩手県久慈市生まれ。宮古市議会議員。2013年入会。14年度クラブ会長。今年度クラブ幹事。

その時、母子は実家へ向かうため、海沿いの国道45号線を津軽石方面に向けて急いでいました。しかし、海のあまりの恐ろしさに、高浜の入り口で車を乗り捨て、近くの一軒家に助けを求めました。

家の方に2階に上がるよう促され、階段を駆け上がったところに津波が襲来。赤ちゃんを抱いたまま外に引きずり出され、山肌に叩きつけられました。恐る恐る振り向くと、助けを求めた家は、跡形もなく消えていました。

ずぶ濡れで震えていたところを、様子を見に来た近所の若者が発見。彼らの助けを借り、高浜地区の住民が避難する高台にたどり着きました。しかし、その時には赤ちゃんの唇は紫色に変わり、泣くことも出来ませんでした。高浜の皆さんは急いでお湯を沸かし、タオルを持ち寄って懸命に母子を温めました。その中に、陸中宮古ライオンズクラブ陽だまり支部のライオン岩間和子もいました。

しかし、赤ちゃんの低体温は治らず、そのままでは命が危ない状態になってしまいました。そこで、高浜消防団の団員3人が、高浜から隣の磯鶏（そけい）に抜ける、昔の農道を通って母子を病院へ送り届けることになりました。夜の8時過ぎの真っ暗な中、けもの道の状態の峠をそれこそ命がけで歩いて越え、母子は無事、病院に入ることが出来ました。

次の日、ライオン岩間は偶然にも母子を探していた父と祖父に出会い、二人の無事を伝えたのでした。

山を切り開く避難道路の建設現場で

母子が消防団に連れられ通った山道は胡瓜沢（くるみさわ）と呼ばれ、以前から住人により、津波で高浜地区が孤立しないよう、車が通れる道路を開設してほしいと切望されていました。私は市議会議員を務めており、ちょうど震災直前に開かれていた市議会の一般質問で、この道の重要性を訴えていました。しかし、その時の答弁は思わしいものではありませんでした。

それが、この震災で認識が変わり、復興予算で避難道路としての設置が決まりました。もっと早くに開設していたなら、これほど多くの犠牲者を出さないで済んだのでは、といまだに悔やまれるのです。

高浜地区は中心市街地から南に約4キロ、国道45号線沿いの宮古湾に面した場所にあります。国道西側の低地部に住宅地が形成され、東日本大震災では、地区南部からの越流津波が流れ込み、甚大な被害を受けました。建物被害は259棟に及び、そのうち流失等の全壊被害は122棟と約47％を占めました。

また、高浜では高浜小学校が避難所に指定されていましたが、そこへ避難するにはいったん海側へ下がらなければいけないお宅もありました。しかも今回の震災では避難所である校庭に水が入るなど、津波の危険と背中合わせになっていました。そのため住民の防災意識が高く、普段から避難訓練を実施していました。

今回の震災では宮古の田老地区で「万里の長城」とも呼ばれた巨大防潮堤が破壊され、同地区に大変な被害をもたらしました。津波に対しては、防潮堤などに頼るのではなく、まず逃げることです。それが命を守る最良の方法であり、最大の防災なのです。そのためには逃げ道を確保しなければなりません。

遅きに失した感はありますが、道路の設置をまずは喜びたいと思います。

種田山頭火「分け入っても分け行っても青い山」の句碑

Where's Lions?
ライオンズを探せ！
@
愛媛県松山市

お遍路さんも観光客も歩む俳都・松山の句碑ロード

取材／河村智子

松山市は俳句革新運動を興した正岡子規やその弟子である高浜虚子らを輩出した地であり、種田山頭火、夏目漱石を始めとする多くの俳人、文学者が足跡を残す。市内にはたくさんの句碑があり、松山城や道後温泉本館などの主要観光地には投句を募る観光俳句ポストが置かれている。

道後温泉から四国霊場第五十一番札所の石手寺（いしてじ）へ向かう国道187号には、松山北ライオンズクラブが建立した4基の句碑がある。2012年2月、クラブは結成30周年の記念事業として、国道の拡幅工事に伴い整備された歩道緑地帯に句碑3基を建立。昨年6月に更に1基を建立した。松山を訪れる俳句愛好家や観光客の間では、句碑巡りが静かなブームとなっている。これらの句碑は愛媛県内の句碑を紹介するウェブサイトでも紹介され、遍路道でもある国道187号は別名「句碑ロード」と呼ばれている。

「坊っちゃん列車」が走る伊予鉄道の道後温泉駅から石手寺までの道のりは約1・5キロ。道後公園の一角にある子規記念博物館を過ぎてしばらく行くと、まずは種田山頭火の句碑（右写真）がある。山頭火は死の前年に松山に庵を結び、この地で58年の生涯を閉じた。次に現れるのが昨年建った高浜虚子の句碑。正岡子規の母の一周忌に詠んだ「秋日和子規の母君来ましけり」の句が刻まれている。更に進むと、夏目漱石の「御立ちやるか御立ちやれ新酒菊の花」、正岡子規の「砂土手や西日をうけてそばの花」の句碑が続く。漱石と子規は第一高等中学校の同級生。結核に冒されて帰郷した子規は、松山中学校に赴任していた親友漱石の下宿に身を寄せ静養した。句碑になった子規の句はその静養中に近辺を吟行して詠んだ句、漱石の句は東京へ発つ子規への送別の句だ。

4基の句碑には西条産の伊予青石が使われ、脇に説明板が立っている。碑の背後には水路に水が流れ、歩道はゆったりと幅が広く、訪れた人はゆっくり句碑巡りを楽しめる。

■愛媛県・松山北ライオンズクラブ（良野一生会長／47人）＝1981年11月20日結成／長年の継続事業に献血と、児童養護施設の子どもたちや愛媛大学の留学生を招いて地引き網などを楽しむ一日里親と国際交流の事業がある。近年は献血の回数を増やし、会員事業所に献血バスを出して協力を得ている。数年前からは1匹でも多くの犬猫を殺処分から救いたいと、愛媛県動物愛護センターへの支援を開始。物品の支援やイベント協力などに取り組み、この活動がクラブの特徴となりつつある

Close up

やり方次第でずっと続けられる。それを体現するのが自分の役目

いい農道でしょう。晴れていると向こうに阿蘇の山々が見えるんですよ。真っすぐで見通しの良いこういう長い道路は、スピードに乗って走るにはうってつけで、もう30年近くここで練習しています。日本一を目指すような競技生活からは身を引いて長いですが、健康を維持しながらいかに早く走れるかを研究する日々です。

車いす生活になったのは自衛隊員だった22歳の時。作業中の土砂崩落事故がきっかけでした。熊本から別府のリハビリ施設に移って療養している時に、日本で初めて世界的な車いすマラソンの大会が大分で開催されたんです。初めて見る競技に衝撃を受けましたね。日本人選手が乗用の車いすで走る中、海外の選手は競技用の車いすで飛ばすわけですから。参加者の中に知った顔もあったので、すぐに自分もやってみようと思いました。

ただ、始めようにもハーフマラソン（当時）を走ったことがないし、走る体力をどのようにつけるかが最初の課題でした。しかも私の場合、自衛隊員でしたからリハビリ施設から勝手に出ることが許されず、敷地内の外周650ﾒｰﾄﾙを走るしかありませんでした。よほど負荷をかけなければ体力はつかないだろうと、思いついたのが車いすに古タイヤをつけて引っ張るトレーニング法でした。タイヤの摩擦抵抗は予想以上で、最初は10分も引くと腕がだるくなり、手に出来たマメもすぐに潰れる始末。それでもテーピングを巻くなどして半年ほど練習を重ねて、第2回大分国際車いすマラソン大会を迎えました。初めての出場ながら総合の9位、国内2位という結果。あまりの好成績に驚いたのと、やれば出来るんだと自信を持ちましたね。

現在は、病院勤務の傍ら日本パラ陸上競技連盟の事業監事兼強化委員会副委員長として、2020年の東京パラリンピックでメダルを狙える選手の育成をお手伝いしています。教えるからには、選手たちが共感出来るようなアドバイスをしたいと、私自身、今現在も練習を続けています。大分国際車いすマラソンは第3回大会からはフルマラソンになりましたが、ハーフの大会もあって、そちらには今も出場しています。61歳で昨年は11位ですから、練習次第でこういう順位も可能だということを若い選手たちには知ってもらいたいですね。

■山本行文

やまもと・ゆきふみ　1954年、熊本県八代市生まれ。車いすマラソンで三度のパラリンピック出場を果たすなど、日本の車いすアスリートの先駆者として活躍。大分国際車いすマラソン大会では83年の第3回大会から89年の第9回大会まで7連覇を達成。92年を最後に第一線の競技から退いた。2013年に熊本城東ライオンズｸﾗﾌﾞに家族会員として入会。

構成／砂山幹博　写真／長谷川直紀

獅子吼

子どもらに心の花を咲かせたい

森　一男（北海道・サッポロシニア）

331・A地区がライオンズクエスト事業「思春期のライフスキル教育」に取り組んで、今期でちょうど10年になる。最初は、「教育のことは教師に任せておけ」と会員たちは冷淡だった。それが現在は、ライフスキル（生きる力）が人間形成にいかに役立つかが理解され、地区内に新しい風が吹いている。

事業の核となるワークショップ（WS）が、教員の間で話題になってきたことが大きい。養護教諭を中心にネットワークが構築されつつある。2015年7月には、全国で2番目の研究会となる「北海道ライフスキル研究会」が発足した。

16年1月9、10日に札幌で開かれたWSには、教員ら17人が参加。そのうち7人は、前述のネットワークからの参加者だ。認定講師の篠田康人さんが「今日は誰に言われて来ましたか」と問い掛けると、以前は9割が「校長、教頭に行きなさいと言われました」と答えていた。しかしこの2、3年は「同僚教諭に勧められました」と言う人が9割と逆転した。口コミで広がりつつあるのだ。

今回、異色の参加者が2人いた。マニラ日本人学校元校長の平野覚さん（札幌）、助産師の目時みちよさん（道南の寿都町）。平野さんはネットワークを通じて参加を申し込んでくれた。目時さんはライオンズクラブのホームページを見ての参加者。初めてのケースだ。

平野さんは札幌で小学校校長も経験した教育界のベテランで、今は第一線を退いている。

「WSではいじめなどを解消して人と協調するスキルを、子どもたちの参加型活動を通して学ぶ。今まで学校経営で必要と思っていながら出来なかったことを発見した」

と強調。

「魅力的で効果を望める指導法が、まだあまり広まっていないのが残念。すぐにでも講師の養成が必要である」

と力説する。

目時さんは、寿都診療所で助産師をしながら看護師の仕事もしている。病気の予防や、地域のコミュニティーの大切さに着目、中・高校生に思春期教育や性教育の講話もしている。

「WSに参加して、子どもたちに一方的に知識を提供するのではなく、得た情報をどう生かし、気付かせるかの必要性を知りました」

と言う。

「自分を大切にするのと同じように、相手も大切にする心。生まれてきて良かったと思えるよう、子どもたちに心の花を咲かせたい」

と、目時さんはWSの良さを話す。

私は09年に、4代目の地区ライオンズクエスト委員長に就任した。それ以来、毎年2回開かれるWSには必ず顔を出している。通算14回になる。初回を除いて、講師はずっと篠田さんだ。話術に長け、ソフトで説得力のある語り口。参加者を引き付けて離さない。

私が14回も顔を出しているのにはもう一つの理由がある。我がクラブからの働き掛けで参加してくれた教諭たちとのコンタクトを強め、クラブに招待する。先生方は多忙なので全員は参加して頂けないが、出席してくれた教諭との交流を深め、ネットワークづくりにも役立っている。「北海道ライフスキル研究会」の誕生にもつながった。

薬物乱用防止教室の出前講座にも、「篠田マジック」を生かしている。子どもらに一方的に、「ダメ。ゼッタイ。」と話すのでなく、問い掛ける手法を取り入れる。参加型である。子どもらとの距離も短くなり、反応が良くなった。

この10年間で、当地区では600人近い先生がWSを受講した。地区のライオンズクエスト説明員も二人誕生した。先生方は教壇で、困難に立ち向かい、自尊心を高めるライフスキル教育の手法を取り入れ生かしてきた。

「うん、そうか、なるほど」と、相づちを打ち、笑顔で話を聞く。「あなたと居られて良かった」、誰もがそう思える人間関係。ライフスキルの神髄が、そこにあるような気がする。

（15年度地区PR委員長／98年入会／78歳）

イラスト／小川和政

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

●投稿要領：
会員及び家族によるエッセー、提言など。1,600字程度

我が町行田の魅力を発信

岡田 安秀（埼玉県・行田）

埼玉県北部に位置する行田市は、今に残る大型の古墳群を始め、関東三名城の一つとされ和田竜氏の時代小説『のぼうの城』の舞台で、映画にもなった忍城（おしじょう）など、市内のあちこちに史跡があり、歴史の宝庫と言われています。こうした特色のある地に、1973年に結成された行田ライオンズクラブは、市民だけでなく多くの人々に行田に親しんでもらいたいと、歴史を顕彰したり、その魅力に磨きを掛けるさまざまなアクティビティを実施してまいりました。

76年には3周年記念事業として、市民憩いの場所となっている水城公園内に東屋、その名も「獅子吼庵」を建設しました。水城公園は忍城の外堀を利用して整備された公園で、釣りを楽しむことが出来る池や、ホテイアオイが美しい薄紫色の花を一面に咲かせる池などがあり、多くの人が訪れますが、園内に休憩出来る施設がありませんでした。そこで当クラブが東屋を設置。建設に当たっては、茅葺屋根を葺く職人と材料が地元に見つからなかったため、山形県尾花沢市出身のメンバーが中心となって、山形へ出向いて職人の方々にお願いし、また材料を調達して完成に至ったものです。「獅子吼庵」の掲額と説明文の設置により、ライオンズクラブをPRすることも出来ました。ここは各種イベントの場として活用され、また桜の花の咲く春などは家族連れの憩いの場としても喜ばれています。

結成5周年記念事業としては76年から79年まで3年間にわたり、忍城御本丸跡や三重櫓跡、忍の時鐘楼跡や、行田市内の名所旧跡に50基の石碑を建立しました。普段あまり気づかずに通り過ぎていたかもしれない場所にも目を向けてもらえるようになったと思います。

10周年には、埼玉県名の発祥の地とされているさきたま古墳群一帯を史跡公園として整備した風土記の丘に、東屋「古墳亭」を建設しました。風土記の丘には「水と緑」の自然があります。

四季を通じてたくさんの野鳥が訪れます。冬はカモ、夏にはカイツブリとカルガモが雛を育てる姿を見ることが出来ます。ゆっくり自然観察をしながら散策し、ちょっと疲れたら古墳亭で休んでください。

また、古墳からは国宝にもなっている金錯銘鉄剣（きんさくめいてっけん）を始め、埴輪や装飾品などが出土し、園内にあるさきたま史跡の博物館に展示されています。こちらは小・中学生がこれらの歴史を学ぶ「埴輪教室」の場としても利用されています。

他にも、風土記の丘の清掃や、古代蓮の里公園での桜の植樹なども行いました。古代蓮は、数千年前の蓮の種子が建設工事の際に偶然出土し開花した大変珍しいもので、市の天然記念物にも指定されています。

こんな見どころ満載の行田の町を、ぜひ訪れてみてください。そして行田ライオンズクラブのアクティビティもご覧頂ければと思います。

（会長／00年入会／67歳）

神戸シニアも20歳

秋本　利子（兵庫県・神戸シニア）

神戸シニア ライオンズクラブはこの3月で、めでたく20歳の成年式を迎えます。私もクラブ結成の翌年に入会し、20年近くを共に楽しく過ごさせて頂きました。頬づえをついて20年という歳月を思い巡らすと、まるでどこかへ消えてしまったような全く不思議な感じでございます。

ライオンズの皆々様、私よりもっと在籍の長い方、またウーンと短い方（こちらの方がよほど多くなったかと）もいらっしゃるでしょう。当クラブ内でもそうなりました。結成当時は会員数40人と、今の2倍。それはそれは元気いっぱい、活気あふれるすばらしい例会で、本当に楽しゅうございました。そんな若々しい神戸シニア ライオンズクラブは今はどこへ、遠い遠い空のかなたへ去っていってしまったのでしょうか。

思い起こしますと、入会させて頂きました日、手引きくださいましたライオン桝野幸一（神戸イースト ライオンズクラブ）に付き添われて例会場に参りました。その時、とんでもなく大きな壁が目の前に立ちはだかっているようで、逃げて帰りたい気分だったのを今も鮮明に覚えています。ところがです、ドアを開き一歩入室致しますと、女性会員の方2、3人だったと記憶致しますが、笑顔のすてきな方々がいらっしゃり、心が救われた気分になりました。わだかまりも消え、ずっと昔からこの席にいたような、豊かなうれしい気分でいっぱいになったことを思い出します。この入会の日の気持ちと申しますか、それがそのまま私の中では生き続けております。

ライオンズクラブに入会させて頂き、私の人生には本当に大きなプラスとなりました。

20年も在籍しておりますと、あちらのクラブこちらのクラブと出掛けさせて頂く機会もございました（比較的遠方が多かったと思います）。それぞれのカラーや文化の違いが明らかに感じられたものです。それまで自分のクラブしか知らずにいた者にとって、すばらしい刺激であり、とてもすてきな人生経験になりました。

現在の私自身は、当クラブの女性会員の中では最高齢。90歳が目前にブラ

ブラぶら下がっております。もう少ししっかりしなければと、そしてますます元気に過ごしていきたいと、鏡の中の老女に言い聞かせております。
　ライオンズの皆々様、神戸の片隅で一生懸命励みがんばっている神戸シニアライオンズクラブと、そのクラブ内で大いにがんばっているメンバーたちを、どうぞお忘れなきよう、心から末永〜くよろしくお願い申し上げ、この度のお別れと致しましょう。最後に一言。「VIVAライオン」と、神戸シニアに捧げましょう。

（迎接副委員長／97年入会／89歳）

終戦時の思い出

塚越　喜一郎（茨城県・下館シニア）

　終戦時、私は北支那野戦貨物廠太原支廠に勤務していました。主計大尉で先任将校でした。ここでは将校10人を含む約300人の軍人軍属で、北支山西省駐留の日本軍約6万人の将校の食糧や被服の補給をしていました。
　私は更に技術将校でもあったので、ガソリンの代用となる高濃度アルコールの製造を秘密裏に命じられていました。参考書も無く、技術者もおらず、苦心に苦心を重ねてやっと成功。私は夜もわずかしか眠らず、それらの任務に励んでいました。
　そんな折、突然軍司令部から、「15日正午、天皇陛下の玉音放送があるから全員拝聴せよ」との命令。私は直接の部下150人と、女子挺身隊10人の高校生と共に、営庭に整列して拝聴しました。雑音が多くほとんど聞き取れませんでしたが、お言葉の中に「残虐な爆弾」とあったので、私は「これは終戦の詔勅」と即断、がっかりし落胆して腰が抜けてしまいました。それを見て他の者も全員泣き崩れ、大声で泣く者もありました。
　放送終了後、私はぼうっとして何も考えられずにいましたが、突然、今ここにいる若い女性たちを絶対に暴力から守らなければならないという考えがひらめきました。早速女子軍属は男装をさせ、女子高生は家庭に送り届けるという対策を取りました。
　ここで任務は終了。「生きて虜囚の辱めを受けず」と拳銃に玉を込めましたが、引き金を引く勇気はありませんでした。軍司令部や部隊長に先がけるべきではない、と自己弁護をしました。
　そうこうするうちに軍司令部から「我が軍は閻錫山軍によって接収された。各部隊には接収軍の部隊が行く。その指示に従い、当分従来通りの生活を続けよ。貨物廠は手持ちの食糧で補給を続けよ。無くなれば補充する」という指示がありました。
　当然私たちの貨物廠にも接収軍が来ました。彼らは考えていた以上に紳士的で、これからの活動などについて話し合いました。出入り口には両軍の衛生所、衛兵も両軍から一人ずつ立つなど取り決めました。
　一応順調に推移していたのですが、私には別の不安がありました。私は貨物廠に来る前半年間、ある部隊の連隊付きをしました。連隊はその半年間戦闘続きでした。全ての兵が明日をも知れぬ命ということで、集団狂気、強盗、略奪、暴行等々ありとあらゆる悪行を

獅子吼

重ね、中国の人々に非常に多くの苦しみを与えました。だから必ずその報復があるだろうと覚悟していたのです。しかしその気配もありませんでした。

そんなある日、我が軍の衛生長が私の所へ駆け込んできました。

「ある部隊から食料受領に来た下士官が、量をごまかして余分に車に積んで営門を出ようとし、接収軍の衛兵に発見されてしまった。素直に謝り余分な物資を返せば良いのに、強く弁解し始めたので、ついに暴力沙汰になってけがをさせられてしまった」

とのこと。私はこのようなことで今まで維持していた円満な関係が壊れてしまうのは残念だと思い、早速接収軍の衛兵長に会おうと準備し始めたところ、その衛兵長が来てしまいました。機先を制されてしまったと思いましたが、彼は何やら言いながらしきりに頭を下げるのです。通訳によると、

「不正をした日本軍の下士官を接収軍の衛兵が殴ってけがをさせてしまった。今中国軍では蒋介石総統の『暴をもって暴に報ゆること勿れ』という強い方針が徹底しているので、もしこの事件が知れれば本人はもちろん関係者も厳しく処罰される。この事件は無かったことにしてほしい」

ということでした。私も同感。お互いこれからも円満な関係を続けましょうと誓い合い、握手しました。

その後私は接収軍の幹部とも親しく話が出来るようになったので、蒋介石総統の寛大な心やそれを受け入れる将兵たちの素直な心について、その理由は何なのだろうかと尋ねました。答えは「儒教の教えが総統の心にも将兵の心にも染みついているからです」とのことでした。非常に長い歴史の経過の中でこのような教えが国民の心の中に染みついていると聞き、驚きました。

帰国後、私は儒教の勉強を始めました。最初の『論語』では、最高の徳目は「仁」つまり「思いやり」であり、しかも「『直き』を以て『怨み』に報ゆ」という、この度の蒋介石総統の心そのもののような文章もあり、感動しました。その後私は『孟子』、『大学』、『中庸』を学び、合わせて6冊の儒教関係の解説書を出版しました。

96年に台北でOSEALフォーラムが開催された時、私は家内同伴で参加しました。フォーラムのものすごい熱気に感動した後、観光で故宮博物院を見学しました。蒋介石総統が作られたということですが、まず第一にその施設の壮大さに驚き、その展示物の古代中国の美術品などに大いに感動させられました。そして大きな蒋介石総統の銅像の前で家内と並んで写真を撮りました。帰国後額装して今も居間に掲げています。

（役職／94年入会／95歳）

ふるさと探訪

宮崎県 高鍋町　取材／鈴木秀晃　写真／田中勝明

児童福祉の父・石井十次のルーツを訪ねる

高齢者の生きがいづくりとして高鍋町の提案で始まったシニア・サーフィン・スクール。現在、65歳のお年寄り10人が参加し、高鍋のサーフ・ショップ「イーストリバー」が指導に当たっている。写真は最高齢の白川満人さん(73)と開田澄子さん(70)。開田さんは「気持ちがぱーっと明るくなる」と話す

高鍋
TAKANABE

宮崎県高鍋町

宮崎県のほぼ中央、椎葉村に源を発する小丸川が町のやや北寄りを流れ日向灘に注いでいる。海岸部は遠浅の砂浜になっており、アカウミガメの産卵地や天然かきの産地として知られている。また、南北に10キロ以上続くビーチ沿いには、初心者から上級者まで楽しめる九州屈指のサーフポイントが点在していることから、サーフィン人口が多く、それを目的に移住してくる人もいる。町内には、5～6世紀頃に造られた大小85基からなる国指定史跡・持田古墳群があり、古くから開けた場所であった。江戸時代には、秋月家3万石の城下町として栄えた。県内で面積が最も小さな自治体だが、県や国の出先機関、高校、農業大学などさまざまな施設がある。

面積／43・80平方キロ　人口／２万１３５２人（２０１６年２月１日現在※推計人口）

【交通アクセス】

宮崎県の大動脈であるＪＲ日豊本線が通り、町の中央海寄りに高鍋駅がある

海寄りを国道10号線、山寄りを東九州自動車道が通る。東九州自動車道の高鍋ＩＣがある

豊かな森と日向灘の荒波が育てる天然かき

高鍋町の蚊口浜では大潮の日、潮が引いた海でかき打ちをする町民の姿が見られる。蚊口浜は遠浅で、砂浜の少し先に「ゴロタ石」と呼ばれる大きな玉石の岩場があり、そこに付く天然かきをとっているのだ。

高鍋のかきには、漁業権はないのだろうか？　そんな疑問が浮かぶ。

もちろん漁業権はあるし、組合もあって、ちゃんと1日の採取量を管理している。が、潜ってとるのではなく、勝手に表に出て来たものについてはこの限りではない。地元の人は昔からやっていたことで、組合もそれに目くじらを立てたりはしない。

高鍋の天然かきは全体に黄色みがかかって貝柱が大きい
取材協力／磯亭（Tel.0983-22-1146）

だから大潮の干潮になると、蚊口浜には手押し車を押したお年寄りを始め、大勢の人がやって来るのだ。

「私は宮崎市出身なので、初めてこの光景を見た時はびっくりしました。夜、海からカチンカチンという音が聞こえて外を見たら、人がいっぱい。子ども心に何事かと思いました。蚊口浜の嫁は、かきの殻むきが出来ないとだめと言われるぐらい、かきは生活の一部になっているんです」

そう話すのは、蚊口浜で割烹旅館「磯亭」を営む中田弘幸さん。自ら素潜りで天然かきをとり、奥さん、息子さんと一緒に焼きかきに酢がき、かきフライ、かき飯、かき鍋など、さまざまなかき料理を提供している。

中田さんの話だと、高鍋のかきは江戸時代から知られていたようで、高鍋藩主が食したという記録も残っている。中田さんが組合長を務める高鍋町カキ生産組合には、現在8軒が加盟。保護区域や漁期を設定したり、採取量を1日60キロに制限するなどして、蚊口浜が誇る天然資源としてのかきを保護している。

岩がきは通常、表面がきれいな岩に付く。その点、波が荒い日向灘では、荒波が砂を舞い上げゴロタ石の表面をきれいにしてくれる。しかも九州山地の山々に囲まれた椎葉村に源を発する小丸川が、森の養分をしっかり海に運んでいる。

こうして豊かな自然に育てられた高鍋のかきは、濃厚な味わいとぷりぷりの食感で多くの人を魅了する。また、高鍋の天然かきは、身の3分の1ほどもある大きな貝柱を持ち、そこが特にぷりぷり感を増幅させる。焼きかきにして、そのままの味を食べるのが一番。基本的にむき身では出荷しないので、高鍋に行かないと食べられないというのも、人が引き付けられる要素だろう。

昔は「ドンザ」と呼ばれる綿入りの仕事着を着て潜っていたが、今は素潜り用のウェットスーツが必需品。専門店があって、毎年採寸した上で作り替えているという

天然かきは、表面に海草などがついているため、焼きかきにする前に包丁でこそぎとってきれいにしている

児童福祉の父・石井十次を生んだ町

「福祉」という言葉さえなかった明治時代、日本で初めての孤児院を創設し、生涯にわたり3千人を超える孤児を救済した男がいる。その名は石井十次。高鍋が生んだ偉人である。

十次は1865（慶応元）年、現在の高鍋町馬場原に高鍋藩の下級武士・石井萬吉、乃婦子夫妻の長男として生まれた。高鍋藩は、名君の誉れ高い第7代藩主・秋月種茂が創設した藩校「明倫堂」によって、多くの有用な人材を輩出していた。生来学問が好きであった十次も明倫堂に入学、同校閉校後は明倫堂の校風を受け継ぐ高鍋島田学校に学んだ。

秋月種茂は、教育を重んじたばかりではなく、倹約に努めて藩の財政を再建し、藩勢を大きく発展させた。また、現在の児童手当に相当する制度を世界に先駆けて実施したと言われ、高鍋の福祉文化的土壌を作った。実弟は米沢藩第8代藩主上杉重定の養子となり、破綻寸前の米沢藩の財政を立て直し、江戸時代屈指の名君と言われる上杉鷹山である。

高鍋町の中央公園に建つ石井十次像

十次が、こうした先人たちの影響を受けたであろうことは想像に難くない。そんな十次に転機が訪れるのは17歳の時。郷土の先輩である荻原百々平医師との出会いによって始まった。荻原氏の「医者になって多くの人を救ってみないか」との勧めで、十次は岡山県甲種医学校へ入学。同時に岡山基督教会を紹介され、キリスト教の世界観が十次の中で徐々に広がっていった。

医学生として学ぶ傍ら、十次はある診療所を預かり代診をするようになった。診療所の隣には大師堂があり、貧しい巡礼者たちの宿となっていた。ここで巡礼たちの身の上話を聞き励ますことが、いつしか十次の日課になっていた。

ある日、いつものように大師堂へ行くと、ボロ衣をまとった二人の子

5〜6世紀頃に造られた大小85基からなる持田古墳群（国指定史跡）の一角に、町と町民が一体となって整備する花守山がある。高鍋舞鶴ライオンズクラブも定期的に植樹や草刈りなどを実施している

どもを連れた女性がいた。彼女は、「女手で二人の子どもを育てるのは無理でございます。お情けで上の男の子を預かってください」と涙ながらに懇願。十次はこの話を聞き、その男の子を預かることにした。

この子・前原定一が、十次の児童救済事業における第1号となった。噂は広まり、徐々に預かる児童が増加。十次は三友寺という寺の一角を借り、「孤児教育会」（後に岡山孤児院と改称）の看板を掲げた。そして苦悩の末、「医師になる人は大勢いても、児童救済をやる人間は自分しかいない」と確信し、医書を全て焼き、生涯を児童救済に捧げる道を選択したのであった。

1904（明治37）年、十次の活動に対し、明治天皇から2千円の御下賜金があり、更に翌年から10年間、毎年千円の御下賜の御沙汰があった。当時の千円は現在の1千万円に相当する。大変な金額だ。とはいえ、孤児一人を育てるのに年間約5円が必要で、東北で大凶作となった1905年には東北の子どもたち824人を受け入れ、孤児院は1200人を収容していた。つまり、子どもたちだけで年間6千円を必要としていたため、十次の苦労は簡単には晴れなかった。それでも十次は「無制限収容」を宣言し、子どもたちのために全てを捧げ続けた。

その後、故郷高鍋に近い茶臼原に子どもたちを伴い全面移住。大自然の中、子どもたちは十次の教えを守り、学び、働く日々を過ごした。十次の理想は確実に実を結び始めていた。が、長年の無理がたたり、移住して2年後、十次は家族や友人、子どもたちに見守られながら、48年の生涯を閉じたのであった。

秋月種茂と石井十次、この二人は高鍋の文化そのものと言えるだろう。

▼取材協力クラブ

高鍋舞鶴ライオンズクラブ（徳久信義会長／20人）＝2010年4月1日結成／スポンサー：宮崎、宮崎オーシャン　ライオンズクラブ／2008年10月、高鍋ライオンズクラブが47年の歴史に幕を下ろし解散。高鍋は一時、ライオンズ空白地帯となったが、それではならじと多くのライオンズ関係者の尽力により、1年ちょっとで新生・高鍋舞鶴ライオンズクラブが誕生した。以来、右ページ写真の花守山整備事業を始め、献血や清掃奉仕など、地域に密着したアクティビティを実施してきた。また、今年度からは薬物乱用防止教室にも取り組み、未来を担う青少年の育成に力を入れている。昨年の5周年記念式典では全会員でファレル・ウィリアムスの「Happy」を踊り結束を固めた。

花守山は、持田古墳群の盗掘に心を痛めた岩岡保吉氏が、古墳に眠る人々の霊を鎮めるため個人で土地を取得し、大分から招請した仏師に四国八十八カ所の石仏を彫らせ、山に配置したのが始まり。この時、自らも石仏造りを学び、生涯をかけて石像を彫り続けた。その数、実に750体。6メートル級の巨大石像は老年期に造ったもので、かなりの存在感を見せている。2009年には「高鍋大師」として宮崎県観光遺産に指定された

読者から―4月号

■継続支援を考え中

「特集：子どもの貧困」を読み、ライオン紀里谷和明の記事に感動しました。それと共に、自分たちも何か行動を起こさなければと考え、具体的な行動計画を作り始めました。

特に「安い」ということが貧困を生んでいるとの言葉に多くを考えさせられました。一時的な支援ではなく継続的に続く支援を考えていきます。

北海道・白滝ライオンズクラブ●奥山壽雄

■子どもの貧困という現実

「子は国の宝であるか」については、立場や見方の違いによって大きく意見が分かれています。そして、子どもの貧困について、往々にして自己責任や親の責任として論じられることがあります。

しかし、満足な食事も取れず、また教育の機会も得られない事態が生じている現実が目の前にあります。それが自己責任であるか否か、また行政が対応すべきであるか否か、はたまた貧困率が何%であるかなどに一切関係なく活動をしているNPOがあるということに感動しました。同時に、ライオンズクラブが、子どもの貧困対策という一つの目的のためだけに存在するのではなく、同一地域に多数のクラブがあり、それぞれが、その地域で必要とされる社会奉仕を対象に活動するという、単なるNPOではない、ライオンズクラブの存在意義も再認識出来る記事でした。

神奈川県・小田原白梅ライオンズクラブ●大南修平

■「献血への道」で思うこと

獅子吼に掲載されていた「プロジェクトL　町民1%献血への道」を拝読しました。

献血は誰でも健康な人であれば行えます。献血には協力したい……しかし、60歳を超えての献血には「サァー、やるぞ！」の決意が要ります。その決意をして、受付をしても関門が待っています。

第1関門は該当項目チェック……ドキドキします。

第2関門は比重のチェック、医師の問診……ハラハラした気持ち。そして献血……血管がなかなか見つからない。ようやく無事400ミリリットルの全血献血を終了し、ホッと一安心。

私の献血はこんな感じです。年齢は61歳になりました。献血が出来る年齢は16歳～69歳までですが、65歳以上の献血は60歳から64歳までに献血経験がある人に限られます。さて、後何回出来ることやら……。

健康と奉仕、どちらも続けていきたいものです。

新潟県・分水ライオンズクラブ●渡辺将氏

読者プレゼント

■熊本の特産品をセットで読者10人に

4月14日以降、熊本、大分両県で千回を超える有感地震が発生。しかも震度7や震度6強、6弱など激しい揺れがたて続けに起こり、大きな被害をもたらした。その熊本地震被災地の特産品をセットにして、10人の読者にプレゼントします。内容については、プレゼント発送時期に合わせ、編集部で選ばせて頂きます。

プレゼントをご希望の方は、はがきに「熊本応援」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は6月末日。応募多数の場合は抽選となります。

【宛先】〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階 日本ライオンズ事務所･ライオン誌
＊オンライン応募はライオン誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp）の「ライオン誌日本語版」→「プレゼント応募」から。

〈56ページクイズの解答〉第1問=b.／第2問=c.／第3問=c.／第4問=c.／第5問=b.

もう一度読みたい「あの記事」

●1984年5月号　献眼運動の窓

『ライオン誌』バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

「心の障害者にならないように」

藤原聖（北海道・札幌リバティ ライオンズ）

「雨が降らなければ遠くても歩いて行くことは構わないのですが、雨が降ると傘をささなければなりません。私にとって傘を持つということは大変疲れることなのです。傘は肩とあごで挟んで持ちます。雨だけの日ならまだしも、これに風が吹いたら、もう傘など捨てて濡れて歩きたくなるほど辛くなるのです……」

これはサリドマイドの被害者で20歳になった吉森こずえさんの手記の一部である。

彼女にとって自動車は、私たちが考えるようなぜいたく品ではなく、必需品なのである。彼女は苦難の末、手を使わず、足で運転する車の免許第一号合格者となった。

彼女は手記の中でこうも記している。

「両手が肩のところからほとんどないに等しい私より、もっと不幸な人たちがたくさんいます。その人たちに私から何かしてあげられることがあったらしてあげたい。私の一生をかけてそのような恵まれない人たちの救済のために尽くしてあげたい。特に光を失った盲人たちのために」

こうした考えの吉森さんに対し、世の中には、両手両足がそろっているのに、都合の良い、自分だけの正義や押しつけの思いやり、欲望の渦巻きが、何と充満していることか。

世界には、光を失っている人がたくさんいて、将来の対策や改善、啓発のために救いの手が求められているのに、自分の都合だけを並べて心の目を閉ざし、金権の争いに明け暮れている心の障害者が何と多いことか。こうした人たちは見たところ健常であるだけに、心の障害は厄介なものだと思う。

他人の命と自分の命とが、どこか深いところでつながっていて、世界はもともと一つで、皆身内なのだから、他人に喜んでもらえることは、同時にライオンと呼ばれることや、その家族であるということの誇りであり、生きがいと信じて良いものだと考えてほしい。自分が死んだ時、その生命の一部は他人の身体となって不自由を解決し、そして光を放って生き続けていく。この考えを広めていくことは、難しいことには違いないが、それは奉仕であり、ライオニズムの神髄であり、何と美しく崇高な献身であり、ロマンであることか。

私たちは刻々と死に向かって歩いている。人生とはいくつまで生きたかではなく、どのように生きたかが問題である。

私たち夫婦は、心の障害者にならないよう、ささやかながら献眼運動の啓発のための登録のお手伝いをしようと、まず成年に達した家族を登録させ、友人にも広げることにした。

この度、成人式には少々間のある娘が自発的に登録を申し出た。

他人のために喜んで犠牲を払う心が芽生えたのか、不平不満から解放される道を歩くことを理解したのか、今日ある幸せは他人からの恩恵ということに気がついて、その借りを返すことにしたのかは分からない。親が実践する社会奉仕の後ろ姿が、次の世代の人格形成に役立ったのだと信じたのは、親バカというものだろうか。青少年の健全育成のテストケースとして、身近なヒントを得たような思いがする。

ライオン誌例会のススメ
―次の例会ですぐ使える情報

ライオンズ百科

■国際会長の出身国

1917-18年度の初代国際会長から第99代目の山田實紘国際会長まで、国際会長99人の出身国を調べてみた。全体の74％に当たる73人がアメリカで、次いでカナダが4人、スウェーデン、フランス、ブラジル、日本、インドが各2人となっている。アメリカ以外の国から出た最初の国際会長は、カナダのハリー・ニューマン第8代国際会長、2人目はキューバのラミロ・コラーゾ第29代国際会長だ。

北米地域以外では、南米初はチリのウンベルト・ヴァレンズエラ第39代国際会長、ヨーロッパ初はスウェーデンのパール・スタール第45代国際会長、オセアニア初はニュージーランドのロイド・モーガン第63代国際会長、東洋・東南アジア初は日本の村上薫第65代国際会長、インド・中東・アフリカ初はインドのローイット・C・メータ第76代国際会長が就任。

アメリカ出身の73人を州別に見ると、最多はカリフォルニア州とテキサス州の7人。次いで4人を輩出したのがアラバマ、ニューヨーク、ミシガンの3州。福岡国際大会で第100代国際会長に就任するボブ・コーリュー国際第1副会長はテネシー州出身の4人目の国際会長となる。

パナマを訪問し地元ライオンズがスポンサーする少年野球チームの子どもたちと触れ合う村上薫1981-82年度国際会長

この日・この月

1991年6月3日、長崎県**の雲仙普賢岳で発生した大規模火砕流により43人が犠牲になった**。火砕流はその後も断続的に発生し、山麓の島原市、深江町では多くの市民が避難した。

全国の地区及びクラブから337複合地区に寄せられた義援金は1億7700万円に達した。このうちの約4千万円と、337-C地区が申請したLCIF一般援助交付金5万ドルによって、知的障害者施設・普賢学園の園舎が建設された。

■訂正とお詫び

5月号「HEADLINE」(5ページ)文中にある女性初の国際理事の出身国は、正しくは**パキスタン**でした。同「ライオンズ・ニュース・カセット」(35ページ)にある一般社団法人日本ライオンズ組織図内の理事会の人数は、正しくは**15人**でした。

訂正しお詫び申し上げます。

7月号予告

特集 **熊本地震**

熊本地方を震源とする二度にわたる最大震度7の大地震と相次ぐ余震により、熊本・大分の避難者数は一時18万人を超え、最初の地震から1カ月が経ってなお、約1万4千人が避難生活を送る。被災地のクラブの現況と、被災者支援に取り組むライオンズの活動をリポートする。

クイズ de 例会

〈第1問〉2016-17年度国際第2副会長の立候補者は何人？

a. 2人　b. 3人　c. 6人

〈第2問〉2016-17年度国際第3副会長の立候補者は何人？

a. 2人　b. 3人　c. 6人

〈第3問〉第99回ライオンズクラブ国際大会の総会会場は？

a. マリンメッセ福岡
b. 福岡国際会議場
c. 福岡ヤフオク！ドーム

〈第4問〉国際大会で代議員投票が行われるのはいつ？

a. 大会初日
b. 大会2日目
c. 大会最終日

〈第5問〉ヘレン・ケラーがライオンズに「盲人の騎士」になってほしいと訴えたのは何年の国際大会？

a. 1917年　b. 1925年
c. 1931年

★回答は54ページ下

編集室

会員の皆さんにとって有益な『ライオン誌』を

ライオン誌
日本語版委員
◉
石井博之
(三重県・津中央)

国際理事会は2018年1月からの『ライオン誌』公式版のデジタル化を決定しました。この決定について、ライオン誌日本語版委員会の各委員が本欄で意見を述べております。この件には「晴天の霹靂」「上意下達」「問答無用」の感があり、私自身、無力感を感じています。デジタル化の理由としては経費節減、環境保護等々が言われていますが、今一つ釈然としないところがあり、いかに時代の流れとはいえ残念に思っています。デジタル化によって更なる閲読率の低下が懸念されるところですし、「紙の文化」を大事にしたいという思いもあります。

しかし国際理事会で決定したことは事実です。これを受けて現在、委員会で対応を協議中ですが、国際協会から各公式版に対する会員一人当たり年間6ドルの補助金がどのように変更されるかなど、詳細はいまだに示されておりません。そのため具体的な検討が出来ない状況ではありますが、読者である会員の皆さんにとって有益な本誌の在り方を探り、場合によってはデジタル版と併せてプリント版の発行を継続する方策を模索する必要もあると考えます。この件に関しては近日中にライオン誌デジタル化に関するアンケートを実施し、今後のライオン誌について読者会員の皆さんのご意見を伺う予定です。率直なご意見をお寄せ頂きたく、皆さんの積極的なご協力をお願い致します。

本誌「もう一度読みたい『あの記事』」は読者の反響が大きい記事の一つです。3月号本欄の「思い上がり」(75年11月号)を読み、今改めて思うことがあります。ライオンズクラブは一つの組織である以上、円滑な運営のためにそれぞれの段階において「長」を置くことは必要であり、複数の人がその「長」に就くことを望んで競合することが起こり得ます。話し合いで決着がつかない場合には、選挙になることもやむを得ないでしょう。しかしながら、無用な争いや立場を利用して圧力をかけるようなことがあれば、「和」を尊重するライオンズの基本に反すると考えます。友愛と相互理解、寛容の精神を重んじるライオンズの原点に戻ることを強く願います。

Official publication of Lions Clubs International

EXECUTIVE OFFICERS
President Dr. Jitsuhiro Yamada, Minokamo-shi, Gifu-ken, Japan; Immediate Past President Joseph Preston, Dewey, Arizona, United States; First Vice President Robert E. Corlew, Milton, Tennessee, United States; Second Vice President Naresh Aggarwal, Delhi, India. Contact the officers at Lions Clubs International, 300 W 22nd St., Oak Brook, Illinois, 60523-8842, USA.

DIRECTORS
Second year directors
Svein ystein Berntsen, Hetlevik, Norway; Jorge Andrés Bortolozzi, Coronda, Argentina; Eric R. Carter, Aukland, New Zealand; Charlie Chan, Singapore, Singapore; Jack Epperson, Nevada, United States; Edward Farrington, New Hampshire, United States; Karla N. Harris, Wisconsin, United States; Robert S. Littlefield, Minnesota, United States; Ratnaswamy Murugan, Kerala, India; Yoshinori Nishikawa, Himeji, Hyogo, Japan; George Th. Papas, Limassol, Cyprus; Jouko Ruissalo, Helsinki, Finland; N. S. Sankar, Chennai, Tamil Nadu, India; A. D. Don Shove, Washington, United States; Kembra L. Smith, Georgia, United States; Dr. Joong-Ho Son, Daejoon, Republic of Korea; Linda L. Tincher, Indiana, United States.

First year directors
Melvin K. Bray, New Jersey, United States; Pierre H. Chatel, Montpellier, France; Eun-Seouk Chung, Gyeonggi-do, Korea; Gurcharan Singh Hora, Siliguri, India; Howard Hudson, California, United States; Sanjay Khetan, Birganj, Nepal; Robert M. Libin, New York, United States; Richard Liebno, Maryland, United States; Helmut Marhauer, Hildesheim, Germany; Bill Phillipi, Kansas, United States; Lewis Quinn, Alaska, United States; Yoshiyuki Sato, Oita, Japan; Gabriele Sabatosanti Scarpelli, Genova, Italy; Jerome Thompson, Alabama, United States; Ramiro Vela Villarreal, Nuevo León, Mexico; Roderick "Rod" Wright, New Brunswick, Canada; Katsuyuki Yasui, Hokkaido, Japan.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

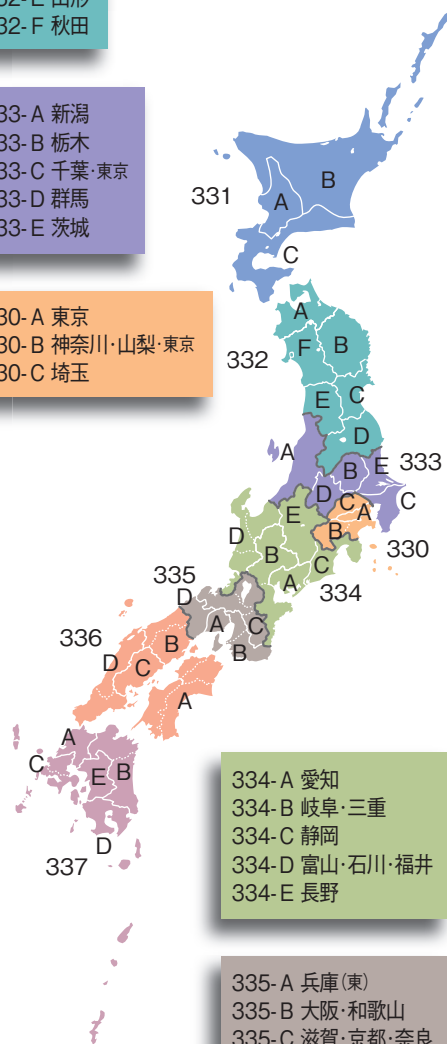
ライオンズクラブ国際協会の公式出版物であるライオン誌は、国際理事会の認可を得て次の20カ国語で発行される－英語、スペイン語、日本語、フランス語、スウェーデン語、イタリア語、ドイツ語、フィンランド語、韓国語、ポルトガル語、オランダ語、デンマーク語、中国語、ノルウェー語、アイスランド語、トルコ語、ギリシャ語、ヒンディー語、インドネシア語、タイ語

ライオン誌日本語版委員会
国際理事　西川 義規
国際理事　安井 克之
国際理事　佐藤 宜之
委員長　塚田 雅二（333複合地区）
編集長　井村 一男（337複合地区）
委員　久津間康允（330複合地区）
委員　中嶋 辛（331複合地区）
委員　佐藤 義則（332複合地区）
委員　石井 博之（334複合地区）
委員　中村 房雄（335複合地区）
委員　寺越 愼一（336複合地区）

日本ライオンズ事務所・ライオン誌
〒104-0028東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階
TEL.(03)6674-8777 FAX.(03)6674-8781
E-mail. edit@thelion.jp
Website: www.thelion-mag.jp

日本ライオンズクラブ分布図

2016.4.30　eMMR ServannA報告による

地区	クラブ数	会員数	増減	男女別会員数		家族会員数			
				男性	女性（割合）	子会員	増減	男性	女性
330-A	203	6,643	218	4,757	1,886（28.4）	1,944	115	623	1,321
330-B	166	4,821	52	3,977	844（17.5）	619	19	175	444
330-C	87	2,466	33	1,986	480（19.5）	414	0	124	290
330 計	456	13,930	303	10,720	3,210（23.0）	2,977	134	922	2,055
331-A	73	2,883	113	2,282	601（20.8）	557	57	110	447
331-B	85	2,805	126	2,254	551（19.6）	490	57	67	423
331-C	52	2,025	72	1,636	389（19.2）	372	66	91	281
331 計	210	7,713	311	6,172	1,541（20.0）	1,419	180	268	1,151
332-A	65	2,204	123	1,707	497（22.5）	399	68	88	311
332-B	53	2,494	79	1,628	866（34.7）	869	74	142	727
332-C	68	1,906	86	1,349	557（29.2）	519	36	107	412
332-D	73	2,554	142	1,960	594（23.3）	540	66	110	430
332-E	56	2,090	67	1,633	457（21.9）	401	37	64	337
332-F	45	1,455	56	1,057	398（27.4）	348	35	60	288
332 計	360	12,703	553	9,334	3,369（26.5）	3,076	316	571	2,505
333-A	75	3,501	193	2,672	829（23.7）	836	126	209	627
333-B	49	1,802	239	1,129	673（37.3）	602	187	154	448
333-C	133	3,802	22	2,866	936（24.6）	740	19	252	488
333-D	54	2,523	197	1,796	727（28.8）	765	125	179	586
333-E	80	4,828	481	3,120	1,708（35.4）	1,935	317	507	1,428
333 計	391	16,456	1,132	11,583	4,873（29.6）	4,878	774	1,301	3,577
334-A	120	7,388	342	4,778	2,610（35.3）	2,713	254	557	2,156
334-B	79	5,421	32	3,460	1,961（36.2）	2,299	17	516	1,783
334-C	80	3,806	29	2,984	822（21.6）	790	6	113	677
334-D	99	6,269	90	4,009	2,260（36.1）	2,390	1	422	1,968
334-E	52	2,759	184	1,932	827（30.0）	858	111	226	632
334 計	430	25,643	677	17,163	8,480（33.1）	9,050	389	1,834	7,216
335-A	84	2,263	107	1,768	495（21.9）	242	57	35	207
335-B	171	7,047	502	5,049	1,998（28.4）	1,757	329	362	1,395
335-C	119	4,282	163	3,547	735（17.2）	482	92	105	377
335-D	65	2,177	179	1,682	495（22.7）	381	116	103	278
335 計	439	15,769	951	12,046	3,723（23.6）	2,862	594	605	2,257
336-A	149	6,543	352	4,832	1,711（26.2）	1,356	227	254	1,102
336-B	95	3,476	358	2,741	735（21.1）	522	310	83	439
336-C	95	3,571	393	3,023	548（15.3）	396	358	73	323
336-D	95	3,513	289	2,895	618（17.6）	446	246	42	404
336 計	434	17,103	1,392	13,491	3,612（21.1）	2,720	1,141	452	2,268
337-A	116	6,034	326	4,157	1,877（31.1）	1,630	248	354	1,276
337-B	70	3,107	118	2,217	890（28.6）	892	54	180	712
337-C	82	4,505	163	2,903	1,602（35.6）	1,719	168	498	1,221
337-D	78	2,469	48	2,098	371（15.0）	222	30	39	183
337-E	57	1,782	119	1,456	326（18.3）	228	90	65	163
337 計	403	17,897	774	12,831	5,066（28.3）	4,691	590	1,136	3,555
総計	3,123	127,214	6,093	93,340	33,874（26.6）	31,673	4,118	7,089	24,584

世界のライオンズ

2016.4.30　国際協会集計

国または領域………211　クラブ数 ………46,826
会員数 ……1,411,022　会員数増減……33,079

99th ライオンズクラブ国際大会
〜福岡市にて開催〜

期間　2016年6月24日(金)〜28日(火)

スローガン「動き出そう!人々のために、世界のために」
Do for People Do for World

今、世界はライオニズムの情熱と献身的な奉仕を切望しています。
全ての国家と民族に自由と正義を保証する平和を実現するために、世界中のライオンは堅く団結し、人々の期待に応えようではありませんか。

創立100周年のシカゴ大会を目前にして、2016年には当地福岡にて「第99回ライオンズクラブ国際大会」が挙行されます。
全世界から多くのライオンが一堂に会し、感動的で有意義な誇るべき大会になることでしょう。
ホスト委員会(MD337)をはじめ、福岡県、福岡市、地元の様々な民間企業が一体となって
おもてなし(OMOTENASHI)の心で皆様をお迎えできるように、総力を挙げて取り組んでまいります。

ぜひともご登録・ご参加賜りますよう、心よりお願い申し上げます。福岡が皆さんをお待ちしています！
※二行目はメルビン・ジョーンズのお言葉です。

主要会場

・本部ホテル

・インターナショナルショー　・初日総会(開会式)
・2日目総会　・最終日総会(閉会式)

・展示ホール　・物販ブース　・フードコート
・投票

・大会登録　・参加キット受け取り　・セミナー
・会議

国際大会の主なスケジュール(予定)

6月24日(金)
- **大会登録や参加キットの受け取り**
  午前10時〜午後5時・福岡国際会議場
- **展示ホール**
  午前10時〜午後5時・マリンメッセ福岡

6月25日(土)
- **インターナショナルパレード**
  午前10時スタート・福岡市のメインストリート明治通を行進します
- **展示ホール**
  午前11時〜午後5時・マリンメッセ福岡
- **インターナショナルショー**
  午後7時〜8時15分・ヤフオクドーム

6月26日(日)
- **初日総会／開会式**
  午前10時〜午後1時・ヤフオクドーム
- **展示ホール、セミナー会議**
  午前10時〜午後5時・マリンメッセ福岡、福岡国際会議場

6月27日(月)
- **2日目総会**
  午前10時〜午後1時・ヤフオクドーム
- **展示ホール、セミナー会議**
  午前10時〜午後5時・マリンメッセ福岡、福岡国際会議場

6月28日(火)
- **投票**
  午前7時30分〜10時30分・マリンメッセ福岡
- **3日目総会／閉会式**
  午前10時〜午後1時30分・ヤフオクドーム

☆ヤフオクドーム、マリンメッセ福岡、福岡国際会議場への入場には、国際大会への参加登録者に用意される「参加登録証」の着用が必要です。
☆ホスト委員会の活動状況、大会スケジュール等については随時ホームページに発表していますので是非ご参照ください。
ライオンズ会員専用ページへログインする為のユーザー名は「lions」パスワードは「japan」です。

第99回 ライオンズクラブ国際大会　ホスト委員会事務局
〒810-8650 福岡市中央区地行浜2-2-3　ヒルトン福岡シーホーク
Tel／092-407-8199　Fax／092-407-8948　E-mail／lc99intcnv@iaa.itkeeper.ne.jp
http://lions99-fukuoka.jp

ライオン誌6月号
昭和33年12月19日付第三種郵便物認可　定価180円　送料実費78円
2016年(平成28年)5月20日発行　毎月1回20日発行　第58巻第12号
発行所　日本ライオンズ事務所・ライオン誌　〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階　Tel 03-6674-8777
印刷所　凸版印刷株式会社